

# 町名変更による影響等調査業務 報告書

令和8年3月

株式会社北海道二十一世紀総合研究所

## 目次

1	町名変更の背景と課題.....	1
1.1	現行名称（清水町）が抱える課題.....	1
1.2	十勝ブランドの導入がもたらす戦略的価値.....	3
1.3	全国に点在する「清水町」「清水地区」.....	4
2	町名変更により想定されるメリット・デメリット.....	5
2.1	町名変更によるメリット.....	5
2.2	町名変更に伴うデメリット.....	11
2.3	町名を変更しない場合のメリット・デメリット.....	14
3	町名変更により期待される効果.....	16
3.1	期待される効果.....	16
3.2	「丹波篠山市」における名称変更の効果.....	24
3.3	「十勝清水町」への町名変更により期待される効果.....	27
4	丹波篠山市の事例調査.....	29
4.1	丹波篠山市の概況.....	29
4.2	名称変更の背景.....	31
4.3	名称変更の経緯.....	32
4.4	名称変更の目的.....	33
4.5	名称変更に伴って実施した取組.....	34
4.6	ふるさと納税.....	37
5	町名変更の話題性を活かすために求められる取り組み.....	38
5.1	観光振興に関する取組.....	38
5.2	ふるさと納税に関する取組.....	41
5.3	移住・定住促進に関する取組.....	43
5.4	企業誘致に関する取組.....	44
	資料編（住民説明会向け資料）.....	45

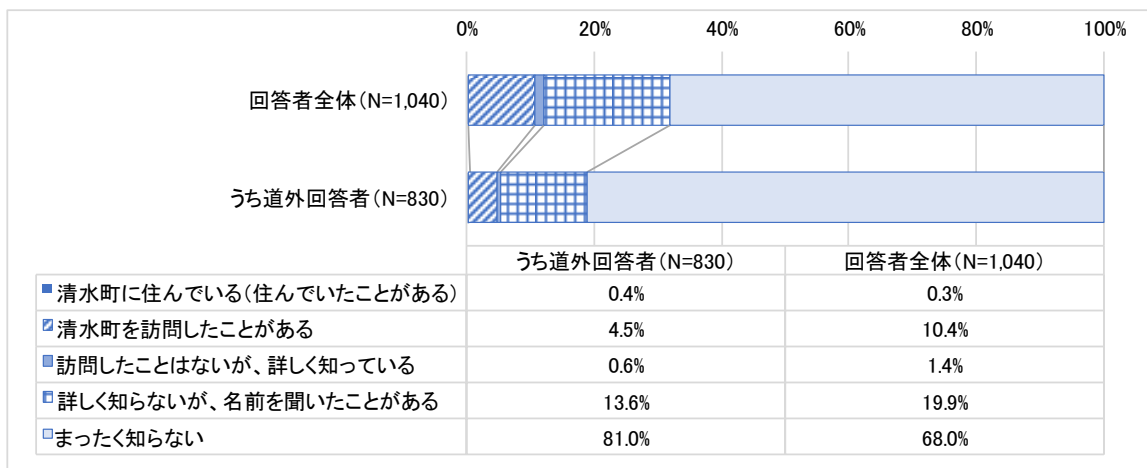
# 1 町名変更の背景と課題

## 1.1 現行名称（清水町）が抱える課題

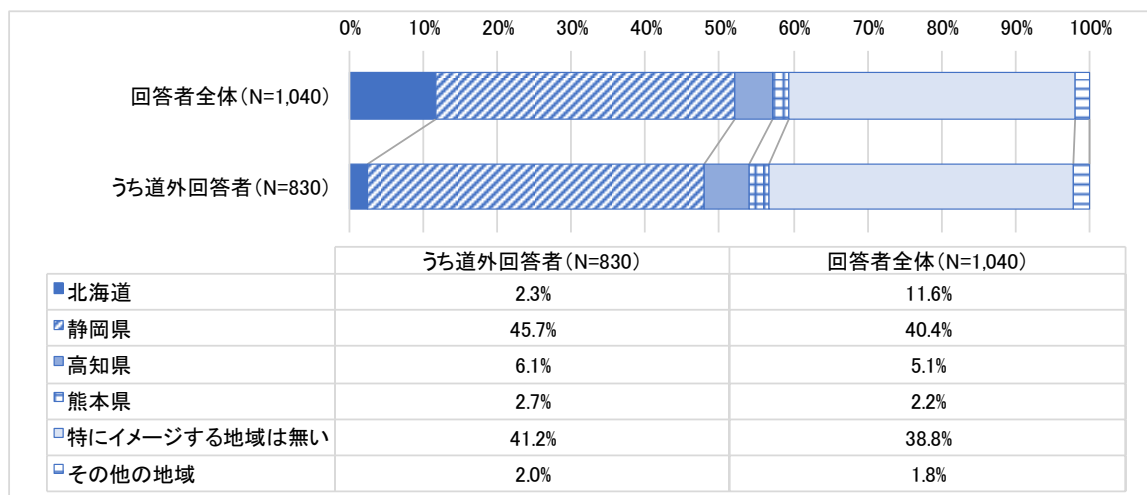
### (1) 知名度不足と同名称地域との混同

- 清水町は、全国的な認知度が非常に低い状態にあります。インターネット調査の結果では、回答者全体の68.0%が清水町を「まったく知らない」と回答しており、道外回答者に限定すると、その割合は81.0%に達します。この認知度の低さは、地域経済の活性化を図る上での大きな障害となります。
- この認知度の低さに加えて、「清水」という名称が他地域、特に静岡県を想起する傾向が強いことが、さらなる情報の混乱を招いています。道外回答者の45.7%が「清水」という地名を見て思い浮かべる地域として「静岡県」を挙げており、北海道を連想する割合はわずか2.3%に留まっています。

【「北海道清水町」を訪問したことがありますか？知っていますか？】



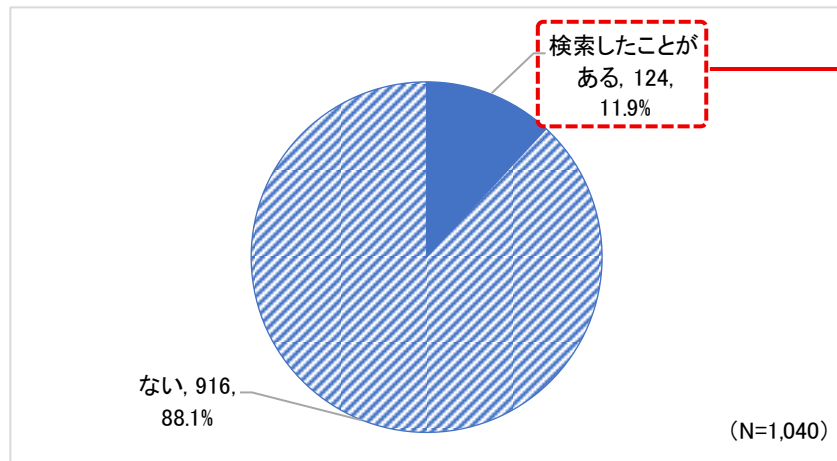
【「清水」という地名を見た時に、どの地域を一番に思い浮かべますか？】



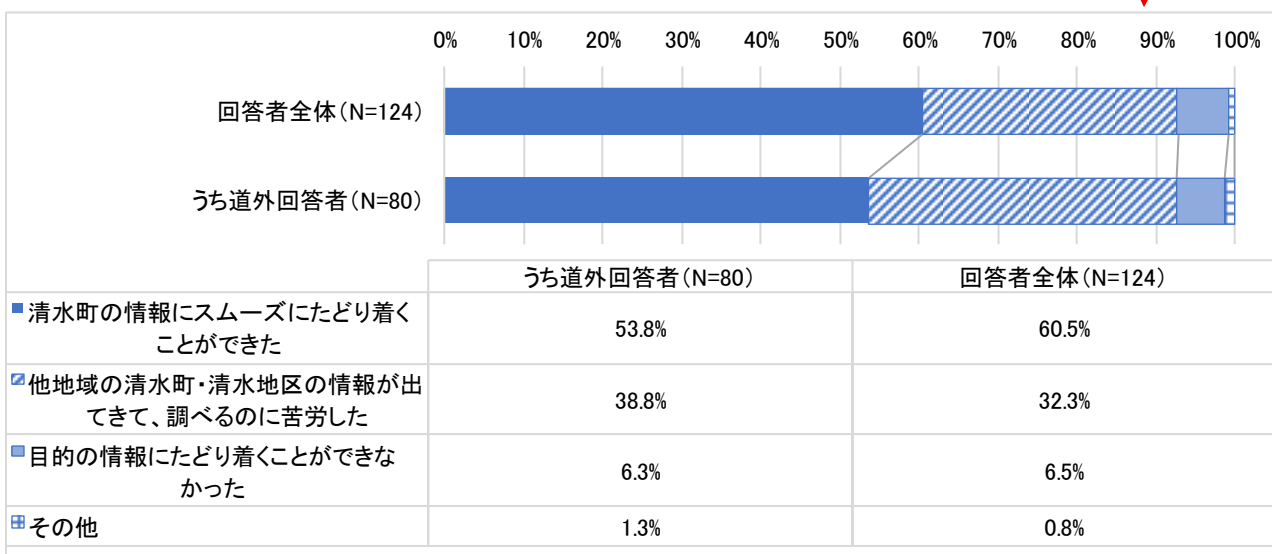
## (2) インターネットでの情報検索

- ・ 名称混同の問題は、デジタル時代において直接的な機会損失につながっています。清水町に関する情報をインターネットで検索した経験がある人（全体の 11.9%）のうち、32.3%が「他地域の清水町・清水地区の情報が出てきて、調べるのに苦労した」と回答しています。道外回答者に絞ると、この割合は 38.8%とさらに高くなります。
- ・ 外部からの認知度が低い自治体においては、インターネット検索が観光やふるさと納税の最初の接点となります。この情報検索時に、道外からの潜在的な関心層のうち、約 4 割が情報取得に支障が生じているという事実は看過できません。観光客やふるさと納税の潜在的利用者が、一定数、ネット上の情報混同によって清水町に到達する前に離脱していると考えられます。

【「北海道清水町」の情報について、インターネットで検索したことがありますか？】



【目的とする情報までスムーズにたどり着くことができましたか？】

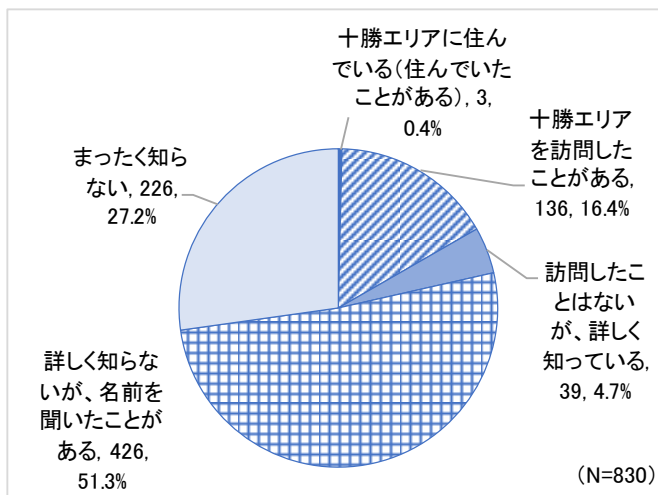


## 1.2 十勝ブランドの導入がもたらす戦略的価値

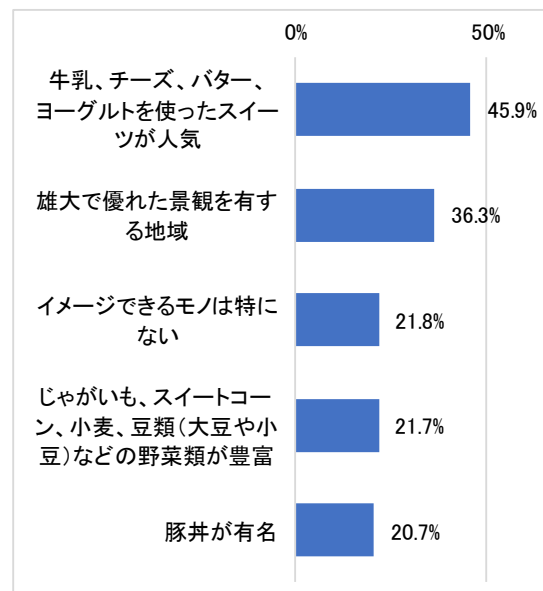
### (1) 十勝エリアの高いブランド認知度の活用

- ・ 清水町単体の認知度と比較して、十勝エリアは道外回答者でも 51.3%が「詳しくは知らないが、名前を聞いたことがある」と回答しており、一定の認知度があります。
- ・ また、十勝エリアは、「牛乳、チーズ、バター、ヨーグルトを使ったスイーツが人気」(45.9%)、「雄大で優れた景観を有する地域」(36.3%)、「豚丼が有名」(20.7%) など、食と観光に関連するポジティブなイメージを確立しています。
- ・ 清水町の名称に「十勝」を冠することで、この既に確立されたブランドイメージや認知度を活用することが期待できます。

【十勝エリアの訪問経験・認知度（道外回答者）】



【十勝のイメージと合致するもの】



### (2) 既存インフラにおける名称の定着

- ・ 清水町では、JR 駅「十勝清水駅」、道東自動車道「十勝清水 IC」、農協「十勝清水町農協」などで、すでに「十勝清水」の名称が使用されています。
- ・ 町内や近隣地区の住民の中では、すでに「十勝清水」という呼び方が使われる機会も多く、名称変更を受け入れられやすい土台が整っています。

### 1.3 全国に点在する「清水町」「清水地区」

- ・ 「清水町」という町は、本町のほかに、静岡県駿東郡清水町があります。
- ・ 「清水」とつく地区で最も有名なのは、静岡県の「静岡市清水区」(旧清水市) でしょう。サッカーの街、清水の次郎長、三保の松原、テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」の舞台などで、知られています。
- ・ 全国には、「清水町」という名称の住所表記はたくさんあります。下の地図に、主な地区とその地区の人口を整理しました。

【「清水町」「清水」という名称の地区がある主な自治体と地区の人口】



資料：令和2年度国勢調査（総務省）

※京都市は各区の「清水町」と「〇〇清水町」の合計人数

※熊本市北区は「清水本町」「清水亀井町」「清水東町」の合計人数

## 2 町名変更により想定されるメリット・デメリット

### 2.1 町名変更によるメリット

#### (1) 町民の視点からのメリット

##### ① 郷土愛（シビックプライド）と一体感の醸成

- ・ 「十勝清水町」への名称変更による対外的な知名度向上や、「十勝」ブランドによるイメージ向上は、町民の地域に対する誇りを高めるシビックプライドの醸成につながります。
- ・ インターネット調査では、若年層（18～29歳）で「町の知名度」や「特産品のイメージ」に大きく影響すると捉えている割合が高いことから、「十勝清水町」においても、若い世代の地域への帰属意識と地域活動への関与が高まることが期待されます。

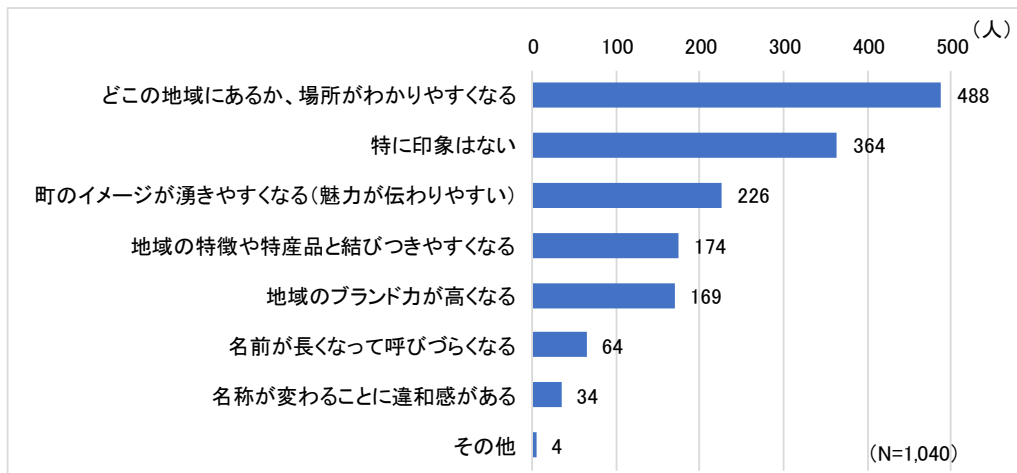
【「清水町」を「十勝清水町」に変更した場合、次のことに影響が出るとお考えですか】

		全体	居住地		性別		年齢				
			道内	道外	男性	女性	18～29	30～39	40～49	50～59	60～
町の知名度	大きく影響する	17.4%	18.1%	17.2%	17.1%	17.7%	16.8%	17.3%	13.9%	15.4%	23.6%
	やや影響する	38.8%	41.9%	38.1%	39.2%	38.5%	46.6%	30.3%	38.5%	38.9%	39.9%
	わからない	25.7%	24.3%	26.0%	24.0%	27.3%	21.2%	25.0%	32.2%	27.4%	22.6%
	あまり影響しない	9.8%	8.6%	10.1%	10.0%	9.6%	6.7%	13.5%	9.1%	10.6%	9.1%
	全く影響しない	8.3%	7.1%	8.6%	9.6%	6.9%	8.7%	13.9%	6.3%	7.7%	4.8%
ネットの情報検索	大きく影響する	12.7%	15.2%	12.0%	12.5%	12.9%	13.9%	12.5%	12.0%	10.1%	14.9%
	やや影響する	32.4%	38.1%	31.0%	31.9%	32.9%	37.0%	23.6%	29.3%	38.0%	34.1%
	わからない	35.0%	28.1%	36.7%	33.8%	36.2%	29.3%	37.0%	38.0%	34.6%	36.1%
	あまり影響しない	10.6%	11.9%	10.2%	10.2%	11.0%	9.6%	13.0%	11.1%	9.1%	10.1%
	全く影響しない	9.3%	6.7%	10.0%	11.5%	7.1%	10.1%	13.9%	9.6%	8.2%	4.8%
SNSへの投稿	大きく影響する	7.1%	7.6%	7.0%	6.9%	7.3%	10.1%	6.3%	7.2%	4.8%	7.2%
	やや影響する	19.8%	20.5%	19.6%	20.4%	19.2%	28.4%	15.9%	15.9%	22.6%	16.3%
	わからない	49.0%	49.0%	49.0%	46.9%	51.2%	39.9%	44.2%	48.6%	51.0%	61.5%
	あまり影響しない	13.8%	13.8%	13.9%	13.3%	14.4%	11.5%	18.8%	18.3%	10.6%	10.1%
	全く影響しない	10.2%	9.0%	10.5%	12.5%	7.9%	10.1%	14.9%	10.1%	11.1%	4.8%
観光地としての印象	大きく影響する	14.1%	11.4%	14.8%	13.3%	15.0%	15.9%	13.5%	11.5%	12.0%	17.8%
	やや影響する	36.9%	38.1%	36.6%	35.2%	38.7%	33.7%	29.8%	38.9%	40.9%	41.3%
	わからない	29.4%	31.9%	28.8%	30.0%	28.8%	30.3%	30.8%	29.8%	27.9%	28.4%
	あまり影響しない	11.5%	11.4%	11.6%	11.9%	11.2%	10.1%	14.9%	13.0%	10.6%	9.1%
	全く影響しない	8.0%	7.1%	8.2%	9.6%	6.3%	10.1%	11.1%	6.7%	8.7%	3.4%
特産品のイメージ	大きく影響する	16.3%	13.3%	17.1%	15.0%	17.7%	20.2%	12.0%	15.9%	11.5%	22.1%
	やや影響する	35.3%	37.1%	34.8%	34.8%	35.8%	38.5%	31.7%	32.7%	38.9%	34.6%
	わからない	29.3%	31.0%	28.9%	28.5%	30.2%	23.6%	31.3%	30.8%	29.3%	31.7%
	あまり影響しない	11.0%	11.4%	10.8%	11.9%	10.0%	10.1%	13.0%	12.5%	11.5%	7.7%
	全く影響しない	8.1%	7.1%	8.3%	9.8%	6.3%	7.7%	12.0%	8.2%	8.7%	3.8%
ふるさと納税の認知	大きく影響する	11.4%	12.4%	11.2%	10.8%	12.1%	13.0%	8.2%	13.9%	9.1%	13.0%
	やや影響する	30.4%	30.5%	30.4%	30.0%	30.8%	35.1%	28.4%	26.9%	32.7%	28.8%
	わからない	39.5%	39.5%	39.5%	37.3%	41.7%	34.6%	38.5%	41.3%	36.1%	47.1%
	あまり影響しない	10.6%	10.5%	10.6%	11.7%	9.4%	9.1%	12.5%	10.6%	13.0%	7.7%
	全く影響しない	8.1%	7.1%	8.3%	10.2%	6.0%	8.2%	12.5%	7.2%	9.1%	3.4%
	N=	1,040	210	830	520	520	208	208	208	208	208

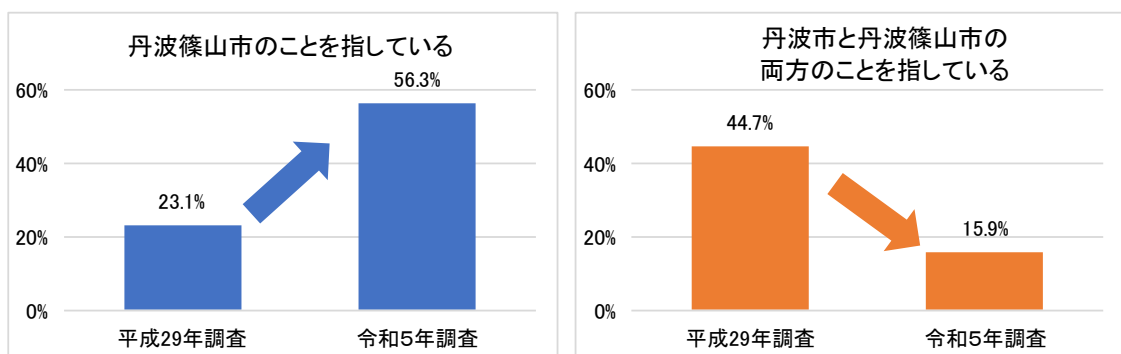
## ②情報の正確性向上

- ・ 「十勝清水町」となることで北海道十勝地域の自治体であるという認識が高まり、外部（特に静岡県）との混同が解消され、町外（特に道外）の知人に対して町の場所や魅力を説明する際の煩雑さが軽減されます。
- ・ インターネット調査では、46.9%が「どこの地域にあるか、場所がわかりやすくなる」と回答しています。

【「清水町」を「十勝清水町」に変更した場合、どのような印象を持ちますか】



- ・ 令和元年に名称変更を行った兵庫県の丹波篠山市が実施した調査では、「丹波篠山」という名称が「丹波篠山市のことを指している」と回答した人の割合が、平成29年の23.1%から令和5年では56.3%へと約2.4倍に増加しています。一方で、「丹波市と丹波篠山市の両方のことを指している」と回答した人の割合は44.7%から15.9%に減少しています。名称変更が、地名の混乱解消に有効であったと評価できます。



資料：令和5年度市名変更による経済効果の検証に関する調査業務報告書（丹波篠山市）

## ③公共サービス向上やインフラ整備に伴う生活の質向上

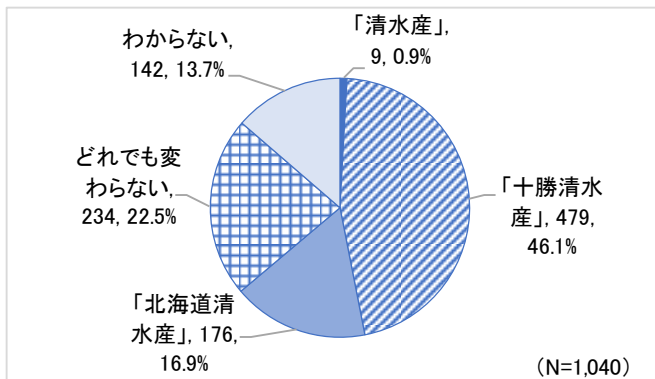
- ・ 町名変更により、特産品の売上やふるさと納税額が増えることで町の税収がアップし、公共サービスやインフラ整備への再投資が期待されます。これは、教育、医療、福祉といった分野の充実に繋がり、結果として町民全体の生活の質の向上をもたらします。

## (2) 事業者の視点からのメリット

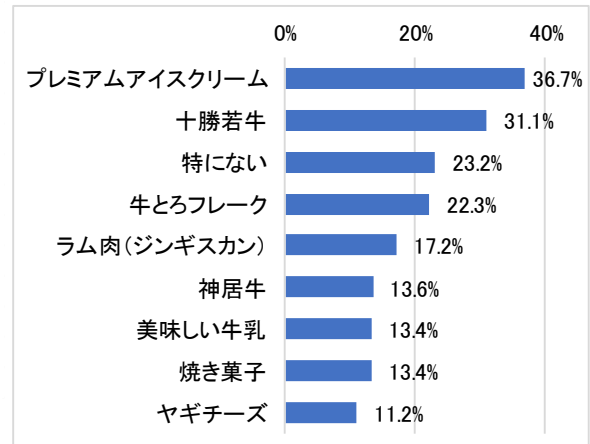
### ①販路拡大と地域ブランド価値向上

- 「十勝清水町」への名称変更は、地域の特産品に「十勝ブランド」という付加価値を提供します。インターネット調査の結果からは、消費者は「清水産」や「北海道清水産」よりも「十勝清水産」を選びたい意向が強いことが確認されています（46.1%が「十勝清水産」が良いと回答）。
- このブランド効果により、町内の事業者には、販路拡大、商品単価上昇、プロモーション効果の向上が期待できます。特に、十勝のイメージと強く結びついている、乳製品・畜産品（プレミアムアイスクリーム、十勝若牛、牛とろフレークなど）の競争力強化が強く期待されます。

【どちらの産地表示をより買いたいと思うか？】

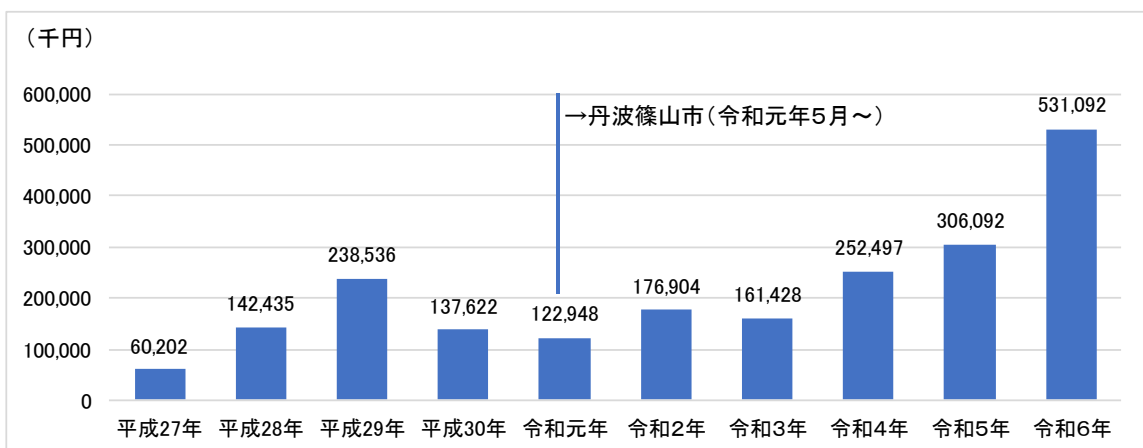


【清水町で買いたい特産品（上位）】



- 令和元年に名称変更を行った兵庫県の丹波篠山市では、ふるさと納税額が、令和元年の約 1.2 億円から令和 6 年には 5.3 億円に増加しています（令和 6 年はコメ不足による米返礼品への人気集中の影響がある）。

【丹波篠山市（旧篠山市）における、ふるさと納税額の推移】

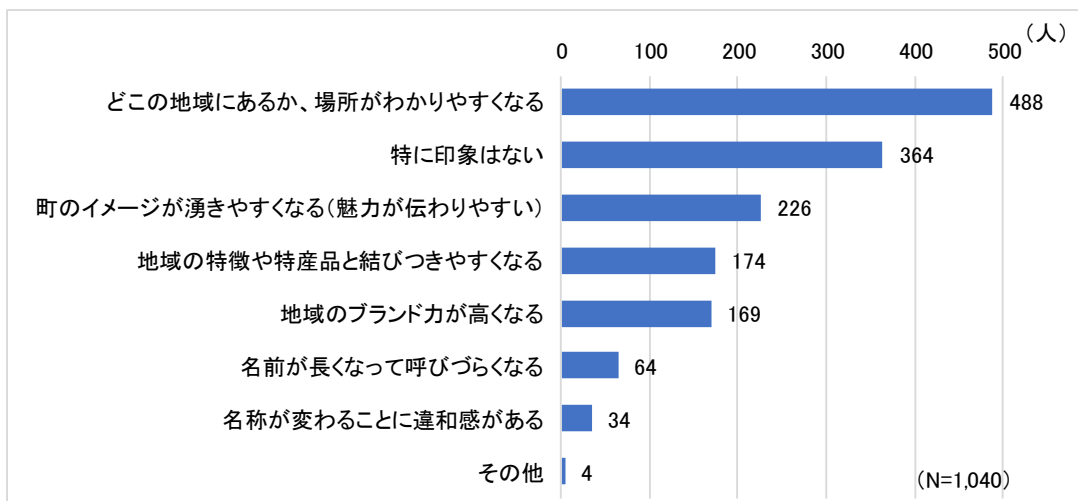


資料:総務省

## ②観光客・来客の増加

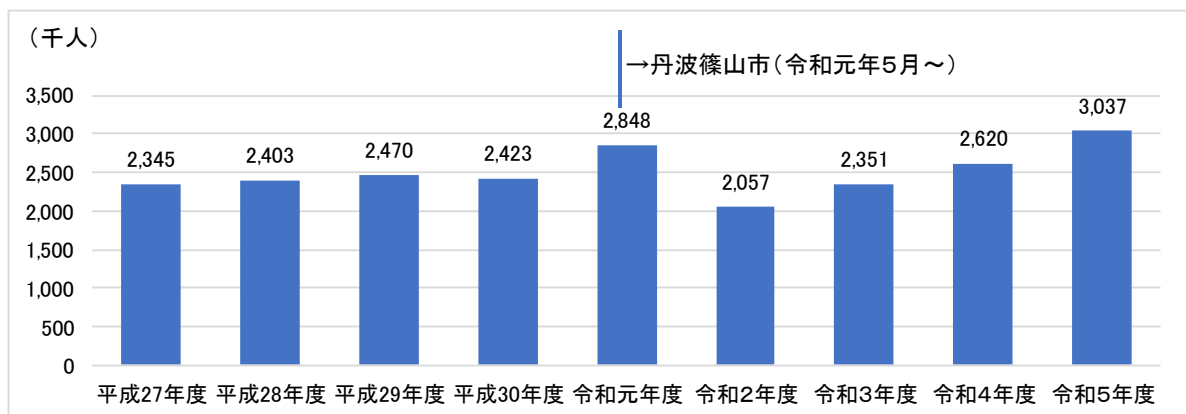
- ・ 「十勝清水町」への名称変更は、話題性を生み出し、さらに、場所が明確化（回答者の46.9%が「場所がわかりやすくなる」と回答）することによって、旅行者の訪問意欲を高めます。
- ・ 観光客が増加する効果は、宿泊業、飲食業、土産品店など観光関連産業全体に波及し、地域経済を活性化させます。インターネット調査では、回答者の51.1%が「名称変更が観光地としての印象に影響を与える」と回答しており、特に女性層や高齢層において観光への期待が高い傾向が見られます。

【「清水町」を「十勝清水町」に変更した場合、どのような印象を持ちますか】



- ・ 令和元年に名称変更を行った兵庫県の丹波篠山市の観光客数（総入込客数）を見ると、名称変更を行った令和元年度に284.8万人を記録、その後コロナ禍で観光客数が減少したが、令和5年度には303.7万人で、コロナ前を上回る水準となっている。

【丹波篠山市（旧篠山市）における、総入込客数の推移】



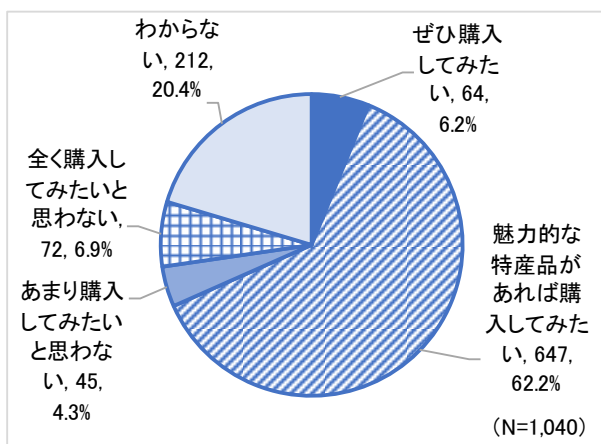
資料：兵庫県観光客動態調査報告書

### (3) 行政の視点からのメリット

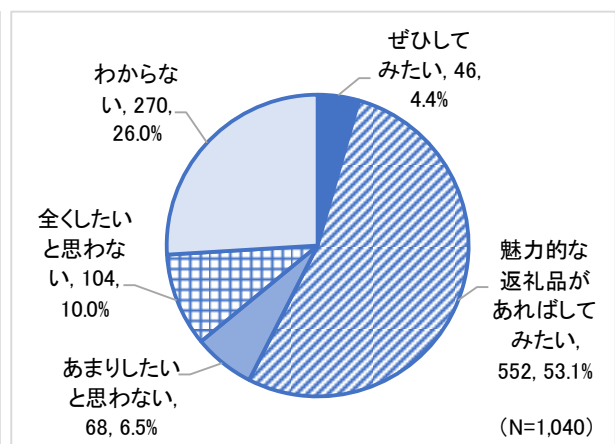
#### ①ブランド戦略の統一と実行力の向上

- ・ 町名に「十勝」を冠することで、観光誘致、移住促進、特産品 PR といった施策が、十勝エリアの持つ強力なイメージと一体的に展開できるようになります。
- ・ インターネット調査の結果からは、特産品購入については 68.4%が「購入してみたい」と回答し、ふるさと納税については 57.5%が「してみたい」と回答しています。
- ・ これは、十勝清水町のブランド戦略全体の実行力を高めることにつながります。

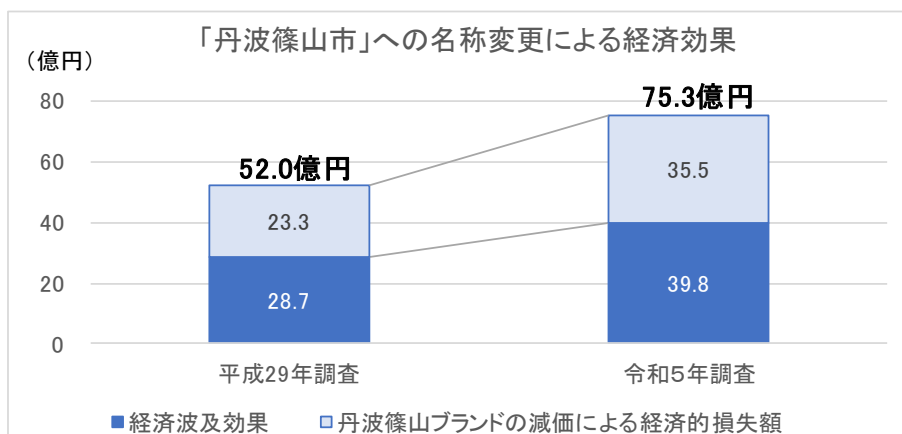
【「十勝清水町」の特産品購入意向】



【「十勝清水町」へのふるさと納税の意向】



- ・ 令和元年に名称変更を行った兵庫県の丹波篠山市が実施した調査では、名称変更が外部認知度の向上とブランド価値の強化に明確な経済的成果をもたらすことを示しています。
- ・ 名称変更前の平成 29 年に実施した調査では、市名変更による地域経済への影響額は 52 億円と算定されていました。しかし、名称変更後の令和 5 年に実施した検証調査では、この影響額が約 1.4 倍にあたる約 75 億円へと大幅に増加したことが判明しました。この増加分約 23 億円は、名称変更が地域経済に継続的なプラスの影響を与えていることを示しています。



資料：令和5年度市名変更による経済効果の検証に関する調査業務報告書(丹波篠山市)

## ②全国的な認知度と広報効果の向上

- ・ 北海道内の自治体名称変更は、1990年の利尻富士町（旧東利尻町）以来となり、大きなニュースバリューを持ちます。名称変更の動きは、メディア露出やSNSでの話題性を生み出し、コストをかけずに町の認知度を向上させる効果が期待されます。
- ・ インターネット調査においても、56.3%の回答者が名称変更によって「町の知名度」に影響が出ると回答しています。

## ③情報発信の効率化と財政への貢献

- ・ 同名自治体との競合が解消されることで、インターネット上の情報検索において、「十勝清水町」の情報が正しく表示されるようになり、行政が発信する情報が観光客や移住希望者に確実に届くようになります。情報到達率の向上は、結果的にふるさと納税、移住促進、交流人口の増加に繋がり、中長期的な税収増が期待できます。
- ・ 名称変更を行うことで行政として様々な費用が発生しますが、観光客や移住者の増加、あるいは、ふるさと納税による収益は毎年継続的に発生するストック効果を持つため、この費用は将来の財政基盤を強化するための投資であると評価することができます。

## 2.2 町名変更に伴うデメリット

### (1) 町民の視点からのデメリット

#### ①住所変更手続き（一部民間サービス）

- ・ 町名変更は、町民の生活に深く関連するため、総務大臣によって町名変更の旨の告示がなされ、また、国の関係行政機関の長にあてた通知により広く全国に周知されます。
- ・ 国、道、町などの行政機関では、総務大臣の告示および通知により、各種手続きにおける住所変更の手続きがなされたものとみなすことになるため、町民が実施する必要がある行政的な事務手続きは、限定的なものに止まると予想されます。
- ・ ただし、銀行口座・クレジットカード・保険契約など民間企業への変更手続きは、各企業により取扱いが異なるため注意が必要となります。

#### ②心理的な抵抗感と愛着喪失の懸念

- ・ 長年慣れ親しんだ「清水町」という名称が変わることに対し、一部の住民からは心理的な抵抗感や愛着喪失の懸念が生じる可能性があります。
- ・ インターネット調査の自由意見では、名称変更への違和感を表明する意見や、名称が長くなることにより日常使用上の不便さを指摘する意見がありました。また、町名変更という住民のアイデンティティに関わる大きな決断においては、実際に生活する住民の意見を尊重すべきという意見が多くありました。

### (2) 事業者の視点からのデメリット

#### ①住所表記変更にかかるコストの発生

- ・ 事業者は、名刺、印鑑、封筒、会社案内、ホームページ、看板、商品パッケージなど、ビジネス活動に使用する全ての資材の住所表記を刷新しなければならず、多額の費用が発生します。
- ・ 特に、食料品製造業などパッケージの在庫を多く持つ事業者にとって、自治体名称変更に伴うパッケージ変更コストは、大きな負担となります。名称変更決定から、実際の変更までの移行期間を十分に設けることが求められます。

#### ②顧客・取引先への周知負担

- ・ 旧町名で長らく認識されてきた顧客や全国の取引先に対し、町名が変更されたことを説明し、住所変更を周知する手間と費用、新住所の登録手続きが発生します。この周知と手続きが不十分な場合、郵便物や荷物の誤配、あるいは一時的な取引上の混乱を招く可能性があります。

### (3) 行政の視点からのデメリット

#### ①初期変更コストの財政的負担

- ・ 自治体名称変更において、行政は、物理的なインフラと情報インフラの双方に多大な費用を負担する必要があります。
- ・ 庁舎の看板、各種道路標識、広報物、および住民基本台帳や固定資産台帳などの各種データベースの改修・更新費用といった多岐にわたる初期投資が集中します。
- ・ 令和元年に名称変更を行った兵庫県の丹波篠山市では、市のコンピューターシステムの改修や公共施設の銘板改修などで約 6,600 万円、企業の看板変更など民間への補助が約 3,200 万円、合計で約 9,800 万円の支出がありました（いずれも予算ベース）。

#### ②変更手続きに関する住民対応の負担

- ・ 名称変更の移行期間中、住民や事業者からの住所変更手続きに関する問い合わせや、公的書類の書き換えサポートなど、行政窓口の業務量が増加します。
- ・ この一時的な業務集中に対応するためには、人員配置の強化や専用窓口の設置が必要となり、これも行政負担となります。

【町名変更によるメリット・デメリットのまとめ】

	メリット	デメリット
町民	<p>①郷土愛と一体感の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対外的な知名度や「十勝」ブランドによるイメージ向上</li> <li>・ 町民の地域に対する誇りが高まる</li> </ul> <p>②情報の正確性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道十勝地域の自治体であるという認識が高まる</li> <li>・ 他地域の「清水」との混同が解消する</li> </ul> <p>③生活の質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町の税収がアップし、公共サービスやインフラ整備への再投資</li> </ul>	<p>①住所変更手続き（一部民間サービス）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民が実施する必要がある行政的な事務手続きは、限定的なものに止まる</li> <li>・ 民間企業への変更手続きは、各企業により取扱いが異なる</li> </ul> <p>②心理的な抵抗感と愛着喪失の懸念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心理的な抵抗感や愛着喪失の懸念が生じる可能性がある</li> </ul>
事業者	<p>①販路拡大と地域ブランド価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の特産品に「十勝ブランド」という付加価値を提供</li> <li>・ 販路拡大、商品単価上昇、プロモーション効果の向上</li> </ul> <p>②観光客・来客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題性や場所が明確化することによって、旅行者の訪問意欲が向上</li> <li>・ 観光関連産業全体に波及し、地域経済を活性化</li> </ul>	<p>①住所表記変更にかかるコストの発生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネス活動に使用する全ての資材の住所表記を刷新しなければならず、多額の費用が発生する</li> </ul> <p>②顧客・取引先への周知負担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町名が変更されたことを説明し、住所変更を周知する手間と費用、新住所の登録手続きが発生</li> </ul>
行政	<p>①ブランド戦略の統一と実行力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光誘致、移住促進、特産品 PR といった施策が、十勝エリアの持つ強力なイメージと一体的に展開できる</li> </ul> <p>②全国的な認知度と広報効果の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メディア露出やSNSでの話題性を生み出し、コストをかけずに町の認知度を向上させる</li> </ul> <p>③情報発信の効率化と財政への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネット検索において、「十勝清水町」の情報が正しく表示されるようになり、行政が発信する情報が観光客や移住希望者に確実に届くようになる</li> </ul>	<p>①初期変更コストの財政的負担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎の看板、道路標識、広報物、住民基本台帳などの各種データベースの改修・更新費用といった多岐にわたる初期投資が発生する</li> </ul> <p>②変更手続きに関する住民対応の負担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称変更の移行期間中、住民や事業者からの住所変更手続きに関する問い合わせや、公的書類の書き換えサポートなど、行政窓口の業務量が増加する</li> </ul>

## 2.3 町名を変更しない場合のメリット・デメリット

- ・ 町名を変更せず、「清水町」の名称を今後も使用し続ける場合の、メリットとデメリットについて整理しました。

### (1) 町名を変更しない場合のメリット

#### ①町民生活への影響が最小限に抑えられます

- ・ 町名を変更しない場合、住所表記が変わらないため、住所変更に関わる各種手続きは発生せず、日常生活への影響を回避することができます。

#### ②長年親しまれてきた町名と歴史を引き継ぐことができます

- ・ 「清水町」という名称は、これまでの町の歴史や文化、暮らしの積み重ねと深く結びついています。町名を維持することで、住民一人ひとりが抱いてきた愛着や記憶をそのまま次の世代へ引き継ぐことができます。

#### ③事業者・行政の負担が発生しません

- ・ 町名変更に伴う、看板や印刷物、商品パッケージ、各種システムの改修といったコストが発生しません。行政においても、町名変更に伴う初期費用（標識の更新やシステム改修費用など）が不要となり、限られた財源を他の施策に活用することができます。

### (2) 町名を変更しない場合のデメリット

#### ①町の認知度向上を町名以外の手段で補う必要があります

- ・ 町名を変更しない場合、町の場所や特徴が全国に伝わりにくいという課題は、今後も基本的に続くと考えられます。
- ・ 観光、移住、企業誘致、ふるさと納税などの分野においては、町名そのものによる分かりやすさや話題性を活用できないため、情報発信や個別施策によって認知度を高めていく必要があります。

#### ②認知度向上による地域経済の活性化や、行政サービス維持への効果が限定的になります

- ・ 町の認知度が高まることは、観光客の増加や企業誘致、特産品の販売拡大などを通じて地域経済を活性化させ、将来的な税収確保や雇用創出につながると考えられています。
- ・ 町名を変更しない場合、こうした認知度向上の効果を町名自体に期待することは難しく、地域経済の活性化は、既存施策の積み重ねにより、時間をかけて進めていく形になります。
- ・ その結果として、人口減少や少子高齢化が進む中で、将来的に行政サービスを現在と同

じ水準で維持していくための財源確保が、より難しくなる可能性も考えられます。

③交流人口・関係人口の拡大ペースが緩やかになる可能性があります

- 町名変更による注目度や全国的な話題性を活用しない場合、町外の人が清水町を知るきっかけは、イベントや個別事業、口コミなどに限られます。そのため、交流人口や関係人口の増加は、比較的ゆるやかなペースになる可能性があります。

【町名変更を「する場合」と「しない場合」の比較】

	観点	町名を「十勝清水町」に変更	「清水町」のまま変更しない
町民の視点からの比較	町名への愛着	新たな町名のもとで、将来世代に向けた一体感や誇りの醸成が期待されます	長年親しまれてきた名称や歴史、記憶をそのまま引き継ぐことができます
	分かりやすさ	「十勝」の名称により、町の位置が町外の方にも伝わりやすくなります	町の位置や特徴を説明する際、分かりにくさが残る可能性があります
	生活への影響	一部の民間手続きなどで住所変更が必要になる場合があります	住所変更に伴う手続きが発生せず、生活への影響はありません
	心理的影響	新しい町名への期待が生まれる一方、違和感を覚える可能性があります	町名が変わらないため、心理的な安心感や安定感があります
事業者の視点からの比較	ブランド力	「十勝」ブランドを町名として活用しやすくなります	町名によるブランド効果は限定的となります
	販路・PR	観光・特産品 PR において話題性や分かりやすさが高まる可能性があります	従来の方法での PR を継続する必要があります
	コスト負担	看板、名刺、パッケージなどの変更コストが発生します	表示変更が不要なため、新たなコストは発生しません
	取引関係	一時的に取引先への説明や周知が必要になります	特に手続きは発生しません
行政の視点からの比較	財政負担	看板・標識・システム改修など、初期費用が発生します	初期費用は発生せず、他施策に財源を充てることができます
	広報効果	名称変更そのものが話題となり、注目度向上が期待されます	町名以外の手段で継続的に情報発信する必要があります
	情報発信	検索時の混同が減り、情報が届きやすくなる可能性があります	インターネット上での混同が引き続き課題となります
	将来効果	観光・交流人口・ふるさと納税等の拡大が期待されます	観光客やふるさと納税等の伸びについては、別の施策による工夫が必要となります

### 3 町名変更により期待される効果

#### 3.1 期待される効果

##### (1) 町名変更による知名度の上昇

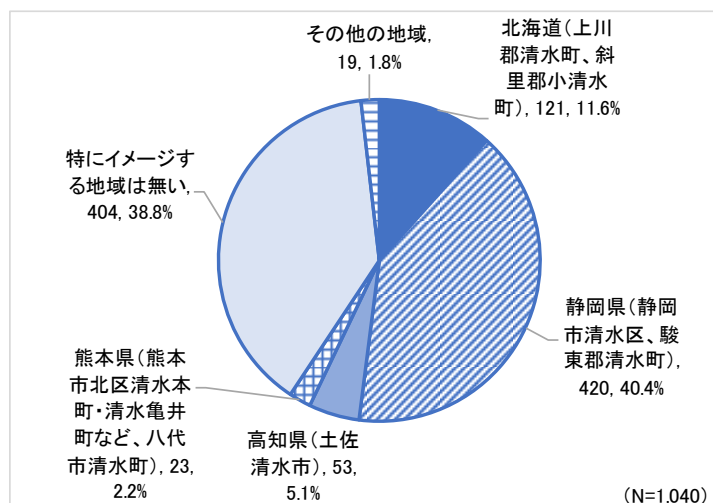
###### ① 同名称地域との混同を避けることができる

- ・ 清水町から「十勝清水町」への町名変更は、単なる行政上の手続きを超えて、自治体のブランド再構築の強力な手段となります。
- ・ 特に、清水町の場合は、静岡県に同じ名称の自治体が存在するほか、全国各地に「〇〇市清水町」という地名があるため、検索時に他地域と区別されやすくなる観点からも、町名変更は大きな意義を持ちます。

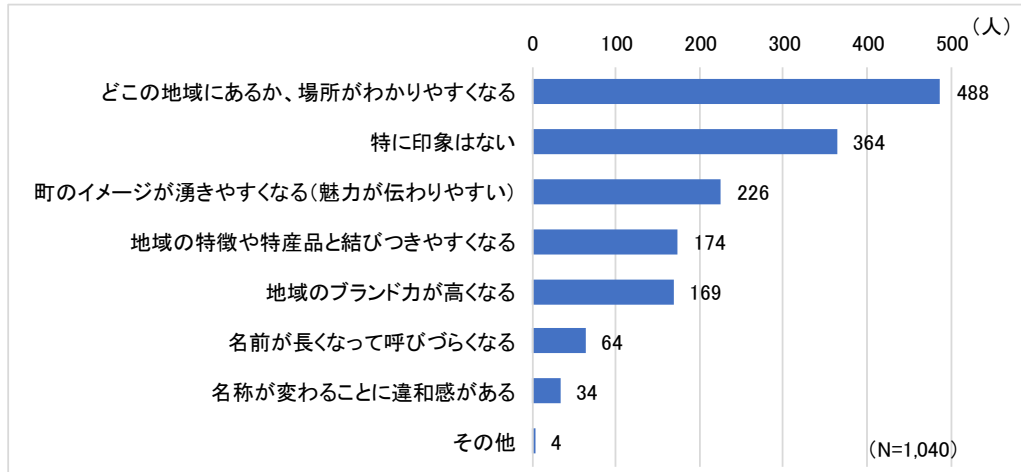
【期待される分野と影響度】

分野	期待される効果の内容
観光	検索ワードが「清水町」から「十勝清水町」に具体化することで、目的地として正しく認知されるようになる。
ふるさと納税	寄付者が「十勝」ブランドと連想して認識するようになるため、返礼品として選択される確率が向上する。
メディア・広報	名称変更の話題を取り上げる番組が増える。その際に、「十勝清水町」と表記されることで、場所が即座に伝わるようになる。

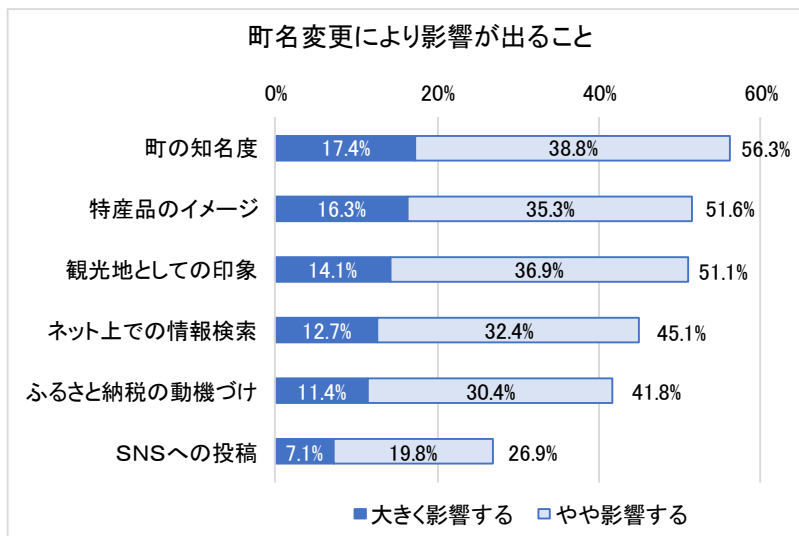
- ・ 令和7（2025）年8月に実施したアンケート調査では、「清水」という地名で思い浮かべる地域として「静岡県（静岡市清水区、駿東郡清水町）」が420人（40.4%）で最も多く、続いて「特にイメージする地域は無い」が404人（38.8%）となっており、「北海道（上川郡清水町、斜里郡小清水町）」という回答は、11.6%にとどまっています。



- 清水町から十勝清水町への町名変更に対する印象は、「どこの地域にあるか、場所がわかりやすくなる」が488人(46.9%)で最も多く、続いて「特に印象はない」が364人(35.0%)、「町のイメージが湧きやすくなる(魅力が伝わりやすい)」が226人(21.7%)の順となっています。これは、道内在住者・道外在住者ともに同じ傾向です。



- 町名変更による影響について、「大きく影響する」と「やや影響する」を合わせた割合で比較すると、56.3%が「町の知名度」について影響ありと回答しており最も多くなっています。続いて、「特産品のイメージ」が51.6%、「観光地としての印象」が51.1%となっており、この3項目については、影響ありという回答が過半数を超えています。



## ②SNS への投稿増加

- 「十勝清水町」への町名変更決定時や、実際の変更となるタイミングで、「#十勝清水」のようなハッシュタグをつけた SNS への投稿が増加し、検索結果で見つけやすくなります。
- 「十勝清水町」への町名変更は、「検索されやすい名前」を手に入れることによるデジタル戦略の一つとなります。

## (2) 行政課題への貢献

### ①人口減少への対策（移住・定住の増加）

- ・ 移住先を探している人にとって、自治体の名称は「検索の入り口」であり「信頼のラベル」となります。
- ・ 北海道への移住検討者が、「十勝」というワードで検索した場合、現在の「清水町」ではヒットしにくい状況ですが、「十勝清水町」と名称が変わることで、十勝ブランドを求める人の検索結果にヒットするようになります。
- ・ 丹波篠山市の調査では、市名変更後に住民の「地域への愛着（シビックプライド）」が向上したというデータがあります。若年層が、「自分の町はブランド力がある」と認識することは、長期的な人口流出の抑制に寄与すると期待できます。
- ・ 町名変更という取組自体が、「挑戦する前向きな自治体」としてメディアに取り上げられるため、移住支援策などの行政サービスが全国的な注目を浴びる効果が期待できます。

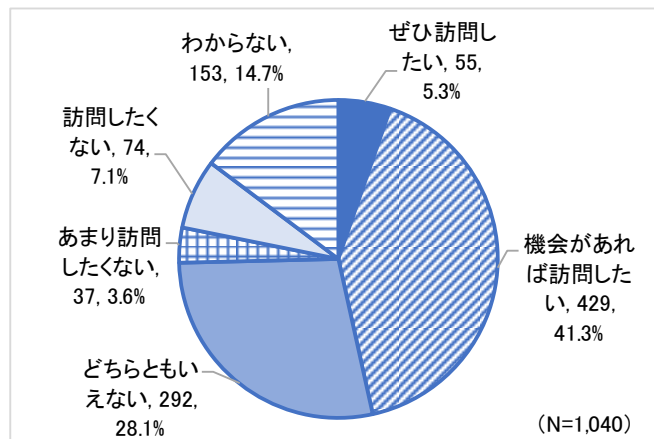
### ②企業誘致・経済活動への貢献

- ・ 企業にとって、進出先の名称は「自社製品・サービスのブランド価値」に直結します。
- ・ 物流拠点や工場を検討する企業にとって、名称から即座に「十勝地方（広域流通の拠点）」にある自治体と判断できることは、進出先検討の候補に入れる材料となります。
- ・ 特に、十勝清水町は「十勝の玄関口」としての交通の要衝であり、その地理的優位性を名称で表現できるメリットは大きいと言えます。

### (3) 交流人口の増加

#### ①観光客の増加

- ・ 観光振興における最大の問題点は、「目的地として想起されないこと」です。観光客が「十勝+観光」「十勝+グルメ」と検索する時、現在の「清水町」のままでは、これらのキーワードに関連してヒットしにくい状況となっています。「十勝清水町」となることで、「十勝」というキーワードでヒットする機会が増加し、十勝エリアの周遊ルートの入り口として、認識してもらえるようになります。
- ・ 道東自動車道の「十勝清水 IC」や JR 北海道の「十勝清水駅」は、すでに「十勝清水」を名称としています。これらが町名と一致することで、観光客に対しての案内が容易になります。
- ・ 令和7（2025）年8月に実施したアンケート調査では、今後の清水町への訪問意向について、「ぜひ訪問したい」55人（5.3%）、「機会があれば訪問したい」429人（41.3%）となっており、合わせて46.6%の人が「十勝清水町」への訪問を前向きに回答しています。

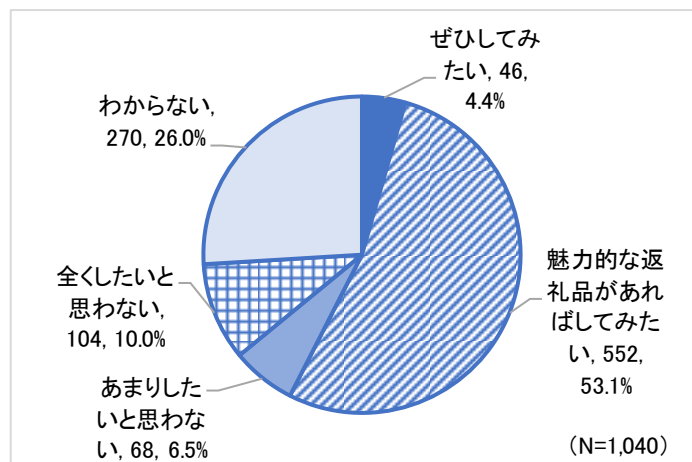


## ②ふるさと納税の増加

- ふるさと納税において、自治体の名称は「ブランドの産地証明」となります。多くの寄付者は、ふるさと納税サイトで「自治体名称（ブランド名）」で検索しています。名称に「十勝」の冠がつくことで、数多くの効果を見込むことができます。

### 【十勝の名称がつくことで生まれる、ふるさと納税への効果】

- 「十勝」で検索する数多くのユーザーの目に留まるようになります。
  - 返礼品である「十勝若牛」や地元の乳製品が町名と一致することで、寄付者に「本物の十勝ブランド」という安心感と信頼を直感的に与えます。
  - 返礼品のブランド力が高まることで、単なる価格競争ではなく「価値」で選ばれるようになり、高単価な返礼品を選択することが期待できます。
- 令和7（2025）年8月に実施したアンケート調査では、「十勝清水町」となった場合のふるさと納税の意向は、「ぜひしてみたい」46人（4.4%）、「魅力的な返礼品があればしてみたい」552人（53.1%）となっており、合わせて57.4%の人が十勝清水町へのふるさと納税に前向きな回答をしています。
  - 年齢別に見ると、「ぜひ」と「魅力的な返礼品があれば」を合わせた割合では、18～29歳と40～49歳がともに63.0%と高くなっており、年齢層が低い方がふるさと納税の意向が高い結果となっています。



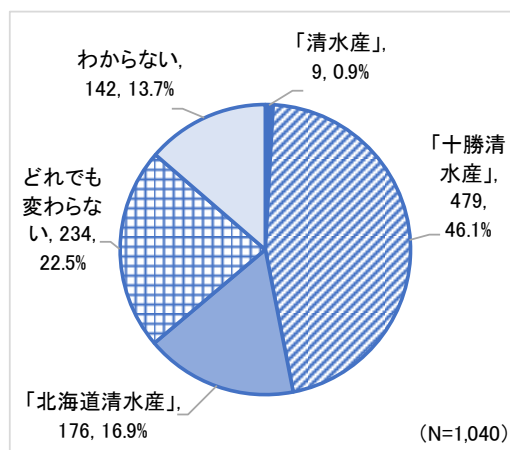
#### (4) 町内事業所の売上増加

- 町名変更による知名度の向上は、個別の事業者にとって「ブランド使用权の獲得」と同義の価値を持ちます。特に「十勝」という強力な地名ブランドが公的に付与されることで、町内事業者の売上に直接的・間接的なプラス影響が期待できます。

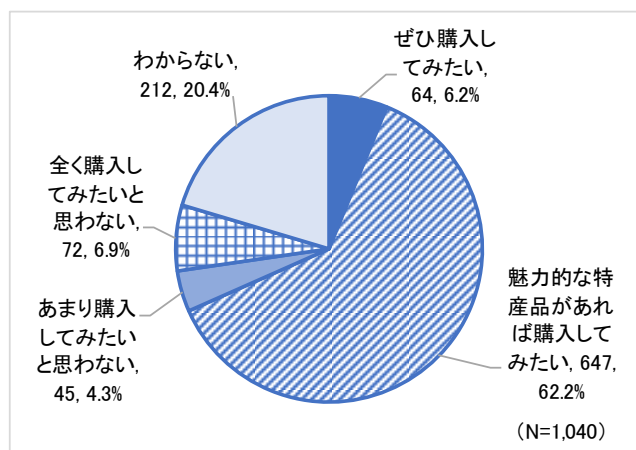
##### ①食料品製造業に期待できる効果

- 食料品製造業者にとって、商品パッケージに記載する「産地表示」は、最も強力なセールスポイントとなります。産地名に「十勝清水町」と表記することで、物産展やECサイトにおいて、「十勝産」であることをPRすることができます。消費者の「十勝=食の宝庫」という既成概念を活用できるため、新規顧客の獲得につながります。
- 「十勝ブランド」を背景に、既存製品を高付加価値化したプレミアムラインの商品展開が可能になります。これにより、販売数量だけでなく「客単価（卸売単価）」の向上が見込めます。
- 百貨店や大手流通事業者のバイヤーに対しては、「十勝にできた古くて新しい自治体」というストーリーで商談を進めることができ、首都圏や海外への販路拡大に寄与します。
- 令和7（2025）年8月に実施したアンケート調査では、「特産品」「土産品」の購入やふるさと納税を行う際の産地表示については、「十勝清水産」が良いという回答が479人（46.1%）で最も多く、従来の「清水産」の9人（0.9%）を大きく上回っています。
- 「十勝清水町」となった場合の特産品購入意向は、「ぜひ購入してみたい」64人（6.2%）、「魅力的な特産品があれば購入してみたい」647人（62.2%）で、合わせて68.4%が特産品の購入に前向きな回答をしています。

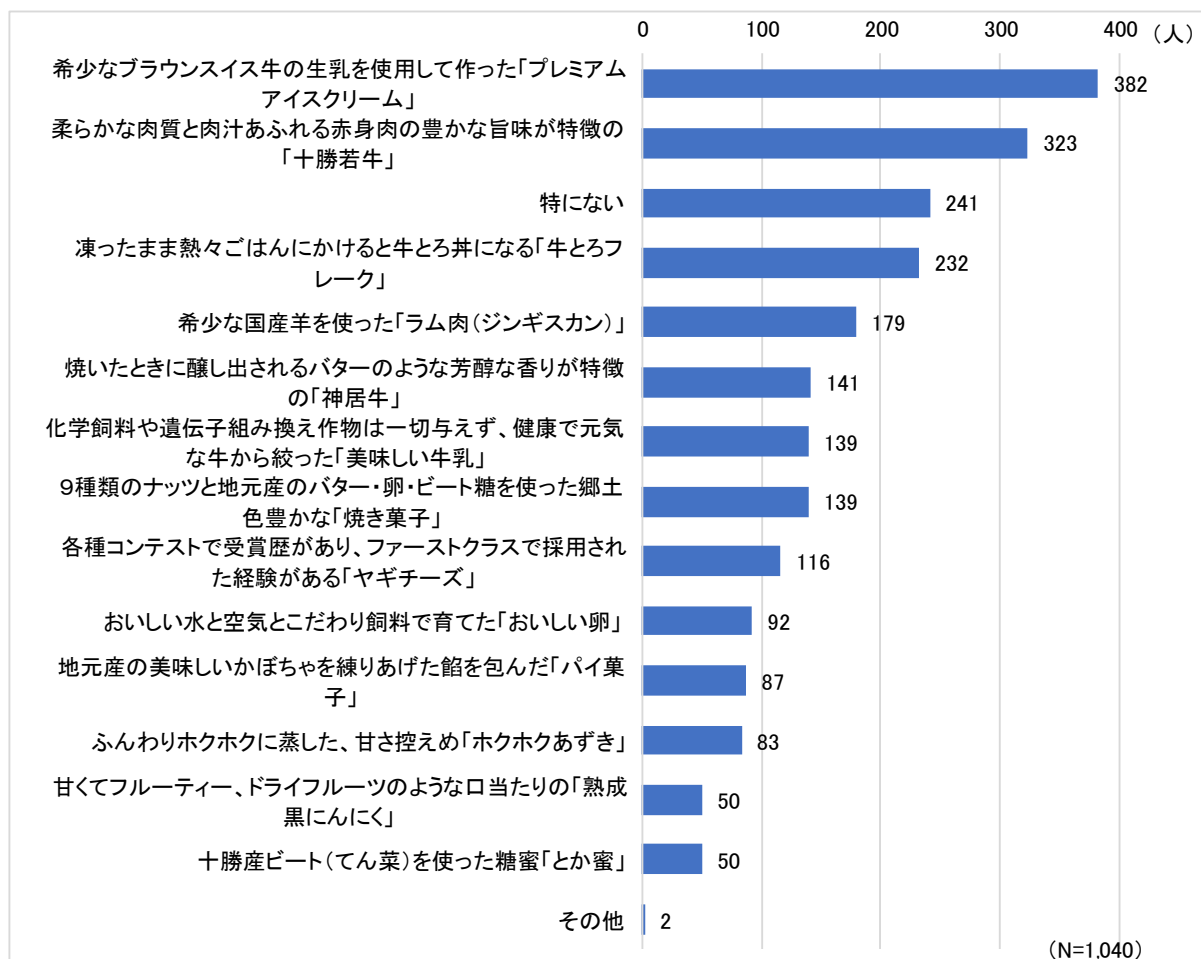
【特産品や土産品の産地表示】



【十勝清水町となった場合の特産品購入意向】



清水町で食べてみたい・購入したい、あるいは、ふるさと納税の返礼品として選びたいと思う特産品は、「希少なブラウンスイス牛の生乳を使用して作った『プレミアムアイスクリーム』」が382人（36.7%）で最も多く、続いて「柔らかな肉質と肉汁あふれる赤身肉の豊かな旨味が特徴の『十勝若牛』」が323人（31.1%）となっています。



## ②土産品店・宿泊・飲食サービス業に期待できる効果

- ・ 町内に、地元産品を集めた直売所や小売店を設けることで、「十勝ブランドの集積地」として認識され、観光客の立ち寄りが期待できます。
- ・ 「#十勝清水」といったタグが SNS で活発化することで、特定の店舗や商品が「十勝のおすすめ」として検索・拡散されやすくなります。
- ・ 宿泊施設にとっては、町名変更は大きな転換点となります。宿泊予約サイトで「十勝」エリアを検索する層に対し、確実にアプローチできるようになります。これにより、宿泊施設の客室稼働率の向上が期待できます。
- ・ 飲食店においては、「十勝清水産」の食材を前面に出したメニュー展開が望めます。観光客は「その土地の名前がついた食」を好むため、注文に繋がります。
- ・ 町全体のブランド力が高まることで、「単なる通過点」から「滞在して楽しむエリア」へとイメージが刷新され、宿泊や飲食による地域内消費が増加します。

## (5) 町民生活につながる効果

### ① 町民の日常経済への波及

- ・ 町名変更による効果は、観光客や移住者といった町外からの需要創出に注目されやすい傾向がありますが、地域振興として持続的な成果を得るためには、町民の日常生活における経済活動への波及を重視することが重要です。
- ・ 観光入込客数やふるさと納税額の増加は、直接的には外部需要の増加を示すものですが、それが町内事業者の売上増加や雇用の拡大、所得の向上を通じて町民の日常経済へと循環することで、初めて地域全体の活力向上につながります。
- ・ 町名変更により「十勝清水町」という名称が浸透することで、町内の飲食店や小売店においても「十勝清水町」を冠した商品やメニューの展開が可能となります。これにより、観光客向けの消費だけでなく、町民自身が地域の価値を再認識し、地元での消費行動へとつながる効果も期待されます。

### ② 将来世代（若者・子ども）につながる効果

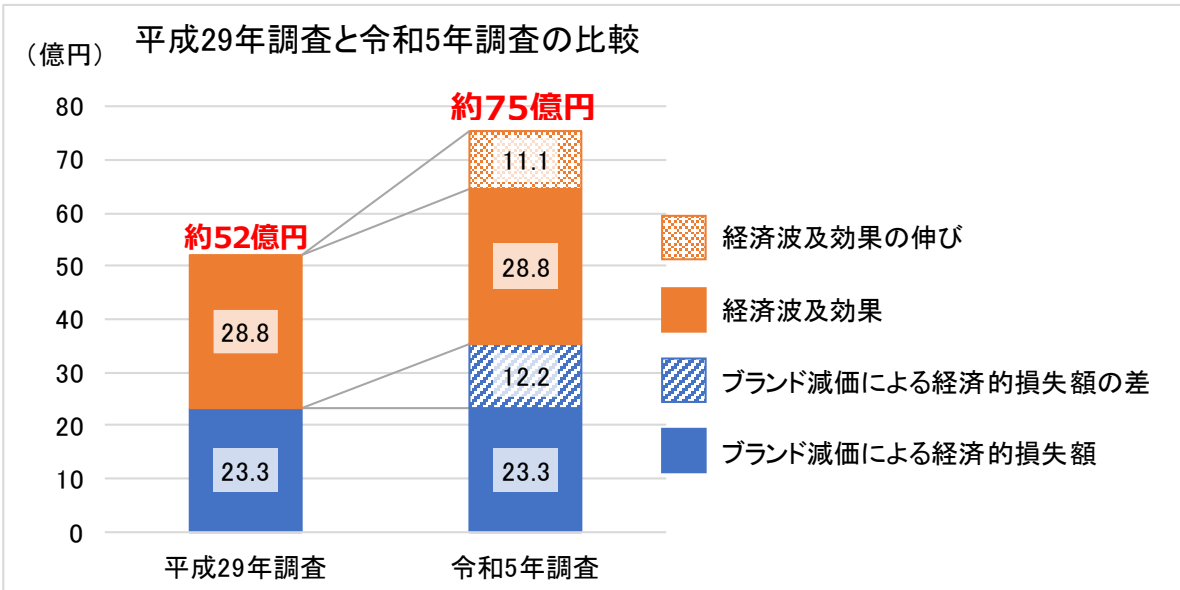
- ・ 地域振興を長期的な視点で考える場合、将来の清水町を担う若者や子どもたちにとって、町名変更がどのような意味を持つのかという視点も欠かせません。
- ・ 「十勝清水町」という名称は、町の位置や特徴が分かりやすく伝わる名称であり、将来、町外で生活することがあった場合にも、自らの出身地を説明しやすいという利点があります。こうした点は、若い世代が地域に対して誇りや肯定的なイメージを持つ上で重要な要素となります。
- ・ 町名変更を契機として、学校教育やキャリア教育の中で、町の産業や役割、さらには十勝地域における清水町の位置づけを学ぶ機会を設けることにより、将来世代のシビックプライドの醸成につなげていくことが期待されます。

## 3.2 「丹波篠山市」における名称変更の効果

### (1) 経済波及効果

- ・ 篠山市では、名称変更を検討するにあたって、変更に伴い発生する経済効果を測定する事前調査を平成 29（2017）年に実施しました。さらに、「丹波篠山市」への名称変更から 4 年が経過した令和 5（2023）年に、名称変更による経済効果の検証調査を改めて実施し、実際の観光消費や来訪状況を基に効果の検証を行いました。
- ・ 変更前の平成 29（2017）年に実施した調査では、地域経済への影響額は約 52 億円（経済波及効果 28.8 億円、ブランド減価による経済的損失額 23.3 億円）、変更後の令和 5（2023）年に実施した調査では約 75 億円（経済波及効果 39.9 億円、ブランド減価による経済的損失額 35.5 億円）となりました。
- ・ 令和 5 年調査で経済効果が約 23 億円増加していますが、これは、名称変更がもたらしたパブリシティ効果が予測以上に持続したこと、および「丹波篠山」という呼称の法的裏付けがなされたことで、特産品のブランド価値が上昇したためと考えられます。

項目	平成 29 年	令和 5 年	算出定義と根拠
経済波及効果			
・ 推計消費純増	19.45 億円	26.96 億円 (+7.51 億円)	名称変更によって生じる、訪問率の高い人の消費増加額
(内訳)			
飲食料品	1.95 億円	2.60 億円	
商業	9.26 億円	12.76 億円	
対個人サービス	8.24 億円	11.60 億円	
・ 第一次間接効果	4.98 億円	7.03 億円 (+2.05 億円)	名称変更による消費増加額によって誘発された生産の原材料投入に伴い、関連産業において誘発される効果額
・ 第二次間接効果	4.33 億円	5.91 億円 (+1.58 億円)	名称変更による消費増加額及び第一次効果で誘発された生産によって増加した雇用者所得が家計から支出され、民間消費支出が増加することによって誘発される効果額
経済波及効果計	28.76 億円	39.90 億円 (+11.15 億円)	
ブランド減価による経済的損失額	23.34 億円	35.57 億円 (+12.23 億円)	今後 10 年間で「丹波篠山」ブランド力が徐々に失われ、他産地と同等の価格帯まで下落すると仮定した際に発生する損失の累計額
合計	52.10 億円	75.47 億円 (+23.37 億円)	

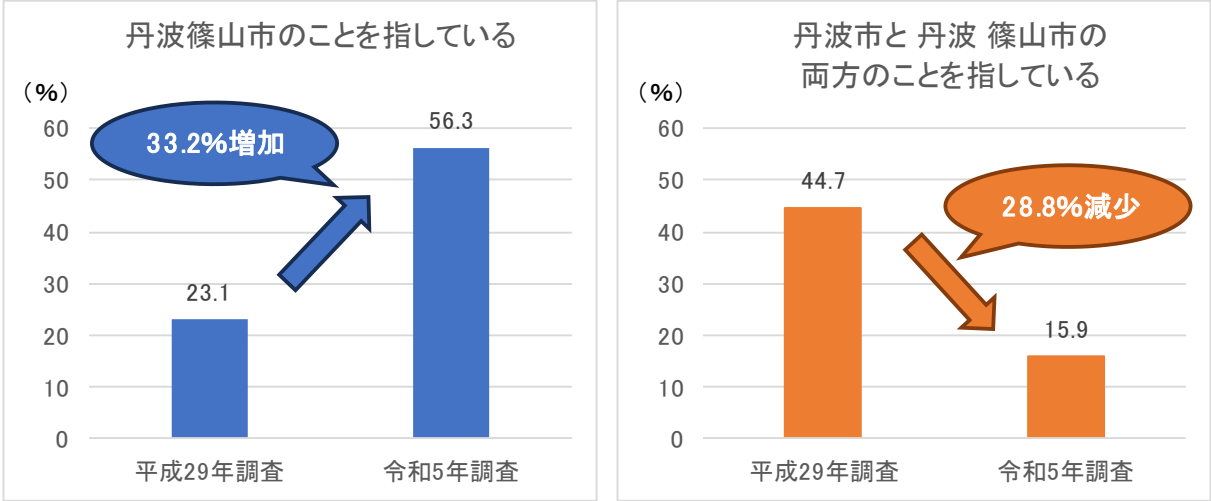


資料：市名変更に伴い想定される経済波及効果等調査分析報告書（平成 30 年 3 月、篠山市）  
 令和 5 年度市名変更による経済効果の検証に関する調査業務報告書（令和 6 年 3 月、丹波篠山市）

(2) 「丹波篠山」という名称に対する認識

- ・ 経済波及効果の調査と同様に、平成 29（2017）年と令和 5（2023）年に、「丹波篠山」という名称に対する認識について調査を実施しました。
- ・ 「丹波篠山」という名称が「丹波篠山市のことを指している」と回答した人の割合は、平成 29（2017）年の 23.1%から、令和 5（2023）年では 56.3%に増加しました。
- ・ その一方で、「丹波市と丹波篠山市の両方のことを指している」と回答した人の割合は 44.7%から 15.9%に減少しました。
- ・ 丹波篠山市への名称変更が、地名の混乱解消に有効であったと評価できます。

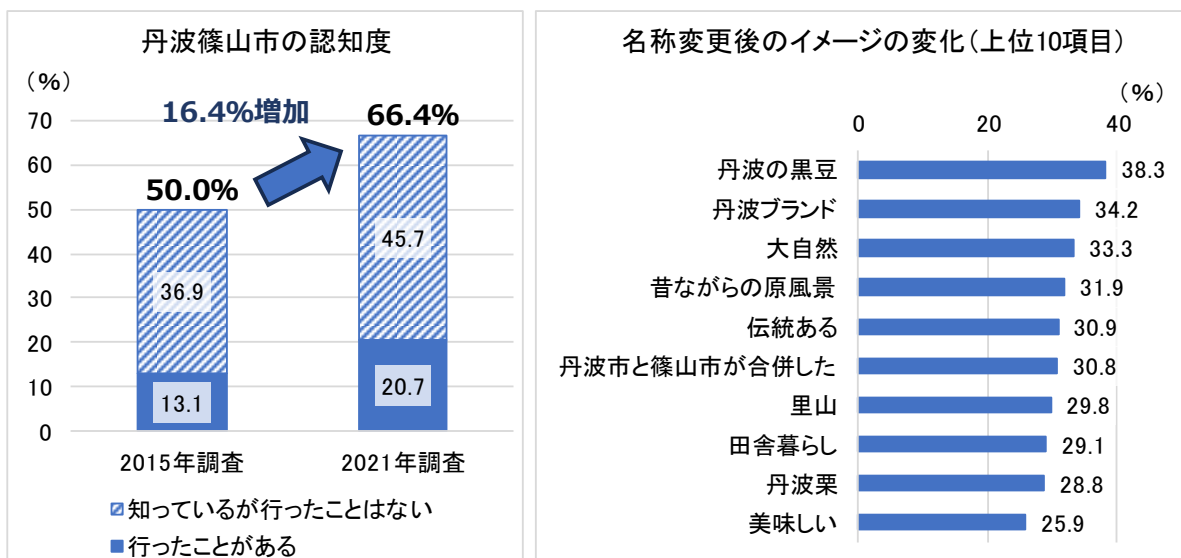
「丹波篠山」という名称が示す地域は・・・



資料：市名変更に伴い想定される経済波及効果等調査分析報告書（平成 30 年 3 月、篠山市）  
 令和 5 年度市名変更による経済効果の検証に関する調査業務報告書（令和 6 年 3 月、丹波篠山市）

### (3) 名称変更による知名度向上

- ・ 「丹波篠山市」への名称変更を巡る議論は、全国ニュースでも取り上げられ、住民投票や市長選挙などを含め多くのメディアで報道されました。こうした報道は、結果として地域の知名度向上につながりました。
- ・ 令和3（2021）年に株式会社リクルートが実施した名称変更後のブランド調査では、丹波篠山市の認知度は16.4%増加しました。さらに、名称変更後のイメージの変化としては、「丹波の黒豆」のイメージが38.3%上昇、「丹波ブランド」のイメージが34.2%上昇という結果が出ています（いずれも2015年調査との比較）。
- ・ 一方で、「丹波市と篠山市が合併した」イメージが上がったという回答も30%を超えており、こうした課題の改善が今後に向けた課題となっています。



※「非常に上がった」と「やや上がった」の合計値

資料：丹波篠山市GAP調査報告書（2021年9月、株式会社リクルート）

### 3.3 「十勝清水町」への町名変更により期待される効果

#### (1) 短期的な効果

##### ①認知度向上と広報による広告効果

- ・ 北海道内の自治体名称変更は、1990年の利尻富士町（旧東利尻町）以来となり、大きなニュースバリューを持ちます。名称変更の動きは、メディア露出やSNSでの話題性を生み出し、コストをかけずに町の認知度を向上させる効果が期待されます。

##### ②情報発信の効率化

- ・ 同名自治体との競合が解消されることで、インターネット上の情報検索において、「十勝清水町」の情報が正しく表示されるようになり、行政が発信する情報が観光客や移住希望者に確実に届くようになります。情報到達率の向上により、ふるさと納税、移住促進、交流人口の増加など、中長期的な効果に繋がっていきます。

#### (2) 中長期的な効果

##### ①地域ブランドの価値向上

- ・ 「十勝清水町」への名称変更は、地域の特産品に「十勝ブランド」という付加価値を提供します。インターネット調査の結果からは、消費者は「清水産」や「北海道清水産」よりも「十勝清水産」を選びたい意向が強いことが確認されています（46.1%が「十勝清水産」が良いと回答）。
- ・ このブランド効果により、町内の事業者には、販路拡大、商品単価上昇、プロモーション効果の向上が期待できます。特に、十勝のイメージと強く結びついている、乳製品・畜産品（プレミアムアイスクリーム、十勝若牛、牛とろフレークなど）の競争力強化が強く期待されます。

##### ②観光客・来客の増加

- ・ 「十勝清水町」への名称変更は、話題性を生み出し、さらに、場所が明確化（回答者の46.9%が「場所がわかりやすくなる」と回答）することによって、旅行者の訪問意欲を高めます。
- ・ 観光客が増加する効果は、宿泊業、飲食業、土産品店など観光関連産業全体に波及し、地域経済を活性化させます。インターネット調査では、回答者の51.1%が「名称変更が観光地としての印象に影響を与える」と回答しており、特に女性層や高齢層において観光への期待が高い傾向が見られます。

### ③中長期的な目標の設定

- ・ 町名変更を含む総合的なブランド戦略の成果として、いくつかの指標について中長期に検証する方針です。例えば、次のような指標について、5年程度のスパンで「現状比」での目標値を設けることを検討しています。

[目標設定指標の例]   ○観光入込客数  
                          ○ふるさと納税額  
                          ○体験住宅等の利用件数  
                          ○移住相談件数  
                          ○企業からの問い合わせ件数 など

[目標値の考え方]   ○無理のない“レンジ目標（幅を持った目標）”を設定する  
                          ○進捗状況を定期的に公表する  
                          ○必要に応じて施策そのものを見直す

## 4 丹波篠山市の事例調査

### 4.1 丹波篠山市の概況

#### (1) 丹波篠山市の位置・地勢・自然環境

- ・ 丹波篠山市は兵庫県中東部に位置し、大阪・神戸・京都といった関西大都市圏からおおむね 1 時間圏内にある内陸都市です。市域面積は約 377.6 平方キロメートルと広く、東西約 30km、南北約 20km に及びます。
- ・ 市の中央には標高 200～300m の篠山盆地が広がり、その周囲を 400～800m 級の多紀連山などの山々が囲んでいます。この盆地は太古に湖であった地形を基盤としており、市内を流れる篠山川は加古川水系として瀬戸内海へと注ぎます。
- ・ 市域の約 7 割を森林が占め、里山の原風景が色濃く残っています。気候は典型的な盆地気候で、夏は暑く、冬は厳しい寒さとなり、昼夜の寒暖差が非常に大きいのが特徴です。秋から冬にかけて発生する「丹波の霧」は、この地域ならではの自然現象として知られています。



資料：丹波篠山市ホームページ

#### (2) 歴史と城下町の形成

- ・ 丹波篠山地域は、古くから丹波国の中心として、京都へ通じる交通の要衝として栄えてきました。慶長 14 (1609) 年、徳川家康の命による天下普請で篠山城が築かれ、以降は城下町として発展します。
- ・ 現在も篠山城跡の石垣や復元された大書院が残り、国の史跡に指定されています。城下町には武家屋敷や商家が立ち並ぶ歴史的町並みが保存され、重要伝統的建造物群保存地区として、往時の面影を今に伝えています。
- ・ また、江戸時代から歌い継がれてきた民謡「デカンショ節」は、日本遺産に認定されるなど、地域の精神文化として大切に受け継がれています。

#### (3) 行政の変遷と市名変更

- ・ 近代以降、丹波篠山地域では町村の統合が進められてきました。特に大きな転機となったのが、平成 11 (1999) 年です。この年、多紀郡に属していた篠山町・西紀町・丹南町・今田町の 4 町が合併し、新たに「篠山市」が誕生しました。これは平成の大合併における兵庫県内第 1 号の事例でした。
- ・ その後、平成 16 (2004) 年に隣接する地域が「丹波市」となったことで、「丹波」とい

う地名ブランドの帰属が分かりにくくなるという課題が生じました。これを受け、地域の名称とブランド価値を守り高めるため、市名変更の是非が議論されるようになりました。

#### (4) 産業と特産品

- ・ 丹波篠山市の基幹産業は農業であり、盆地特有の寒暖差の大きい気候が、高品質な農産物を生み出しています。市は「食と農の都」を掲げ、特産品のブランド化を積極的に進めています。代表的な特産品には、以下のようなものがあります。

産品	特徴
丹波篠山黒豆 (黒枝豆)	粒が大きく、甘みと風味に優れ、全国的な知名度を誇る
丹波栗	古くは朝廷への献上品とされた歴史を持つ、大粒で香り高い栗
山の芋	強い粘りとコクのある味わいが特徴
丹波茶	古くから栽培されてきた地域の伝統作物
ぼたん鍋	猪肉を味噌仕立てで味わう郷土料理で、冬の名物となっている
丹波焼	日本六古窯の一つに数えられる伝統陶芸で、今田地区を中心に中世から続いている

【写真】丹波篠山黒豆



【写真】丹波栗



資料：丹波ささやま農業協同組合ホームページ

#### (5) 観光と都市近郊型立地の強み

- ・ 丹波篠山市の観光は、「歴史」「食」「自然体験」を柱に展開されています。篠山城跡や城下町の散策、黒豆や栗を使った食文化を目的とした来訪、里山での農業・収穫体験など、多様な魅力があります。
- ・ 特に秋の黒枝豆の収穫期には多くの観光客が訪れ、直売所やイベントは大きなにぎわいを見せます。一方で、大都市圏に近い立地でありながら、落ち着いた環境が保たれている点は、「癒やし」や「スローライフ」を求める層から高い評価を受けています。

## 4.2 名称変更の背景

### (1) 歴史的呼称と実際の市名のずれ

- ・ 現在の丹波篠山市の地域は、古くから「丹波国」に属し、城下町として栄えた篠山を中心に、歴史的・文化的に「丹波篠山」と呼ばれてきました。黒大豆（丹波黒）、栗、山の芋などの農産物や、観光・文化分野においても「丹波篠山」の名称は全国的に定着しており、市名が「篠山市」であった期間においても、実態としては「丹波篠山」という地域ブランドが広く用いられていました。
- ・ しかし、「篠山市」という名称には「丹波」の文字が含まれておらず、歴史的・ブランド的な呼称と、自治体の正式名称との間に乖離が生じていました。この点は、市の知名度やイメージ発信における潜在的な課題となっていました。

### (2) 丹波市の誕生による混乱の顕在化

- ・ 平成 16（2004）年、篠山市に隣接する旧氷上郡の 6 町が合併して「丹波市」が誕生しました。それまで地理的・歴史的地域名として使われてきた「丹波」が、特定の自治体名としても用いられるようになったことから、「丹波篠山」という名称がどの自治体を指すのか分かりにくくなりました。
- ・ その結果、篠山市で生産された農産物や観光資源が、丹波市のものと誤認される事例が、流通や観光の現場で見られるようになりました。特に、高いブランド価値を持つ黒豆や黒枝豆などについては、産地イメージの混同が経済的な影響を及ぼしかねない問題として認識されるようになりました。

### (3) 産地表示をめぐる課題と兵庫県の指導

- ・ こうした混乱を背景として、農産物の産地表示に関する課題も顕在化しました。従来から使用されてきた「丹波篠山産」という表示について、消費者に誤解を与える可能性があるとして、兵庫県から関係団体に対し、市町名を明確に示した表示を行うよう指導・助言がなされました。
- ・ この指導は、法令違反を理由とする強制的な措置ではありませんでしたが、自治体名とブランド名が一致していないこと自体が、継続的な説明や調整を必要とする構造的な問題であることを明確にしました。
- ・ 市名そのものを「丹波篠山」とすることで、産地表示をめぐる混乱を根本的に解消できるのではないかという認識が、市内で次第に共有されていきました。

### 4.3 名称変更の経緯

- ・平成 11（1999）年に多紀郡の 4 町が合併して「篠山市」が誕生、その 5 年後の平成 16（2004）年に隣接して「丹波市」が誕生。そこから、特産品の産地や観光地としての「丹波篠山」という名称に関する混乱が徐々に広まってきました。
- ・平成 22（2010）年頃になると、篠山市内の商工・観光・農業関係団体を中心に、「丹波篠山」という歴史的かつ社会的に定着した名称を、自治体名称として正式に位置づけるべきであるとの意見が強まりました。
- ・このような流れの中で、名称変更は「新しい名称を創出する」ものではなく、「すでに社会的に広く使用され、認知されてきた名称を自治体の正式名称として明確化する」取り組みであると整理され、市民による議論と住民投票を経て、名称変更の手続きが取られました。

年月日	出来事
平成 11（1999）年 4 月	・多紀郡の 4 町が合併して「篠山市」が誕生
平成 16（2004）年 11 月	・篠山市に隣接する氷上郡 6 町が合併して「丹波市」が誕生
平成 22（2010）年頃	・地域内外から「市の名前に『丹波』を冠してブランド価値を明確にすべき」との声が上がり、篠山市内で検討が始まる
平成 24（2012）年	・「市名を考える検討委員会」などが設置され、調査や議論が進められる →財政課題との兼ね合いから慎重な議論となる
平成 27（2015）年 4 月	・篠山市住民投票条例施行
平成 29（2017）年 2 月	・商工会、観光協会、JA など地域団体から正式に「丹波篠山市」への名称変更を求める要望書が市に提出される
平成 29（2017）年 5 月	・兵庫県知事から市名変更の有効性が示唆される
平成 30（2018）年 2 月	・市長が市名変更の検討を公式に表明
平成 30（2018）年 4 月	・専門機関による調査結果を公表 →「丹波篠山」の全国認知度は高いが「篠山市」は極めて低い →改称による経済効果は今後 10 年間で約 52 億円
平成 30（2018）年 9 月	・名称変更に関心のある市民団体が住民投票を求めて署名活動を開始、法定数を大きく上回る 1.1 万人の署名を集める
平成 30（2018）年 10 月	・市民団体による住民投票実施請求を受けて、市長が住民投票の実施を決定 ・市長が辞職し、市長選挙と住民投票を同日に行うダブル選挙となる
平成 30（2018）年 11 月	・市名変更の賛否を問う住民投票が行われ、投票率が 69.79%、賛成 13,646 票、反対 10,518 票で賛成多数となり、「丹波篠山市」への変更が決定
令和元（2019）年 5 月	・名称を正式に「丹波篠山市」に変更

#### 4.4 名称変更の目的

- ・ 兵庫県篠山市の「丹波篠山市」への変更は、地域ブランドの確立や観光振興などを目的として実施されました。

##### (1) 「丹波篠山」ブランドの明確化

- ・ 篠山市は黒大豆、栗、松茸などの特産品で知られ、古くから「丹波篠山」という名称が地域ブランドとして用いられてきました。しかし、市の名称が「篠山市」であったため、観光 PR や産地表示などにおいて名称の統一ができていませんでした。
- ・ 名称変更を行うことにより、地域ブランドと行政名称を一致させ、ブランド力向上を図ることを目的としました。

##### (2) 地名の混乱の解消

- ・ 「篠山市」と隣接して「丹波市」が存在することで、同じ地域内に「丹波」「篠山」「丹波篠山」という名称が混在していました。そのため、地域名称に関する混乱や誤解が生じるケースが増えていました。
- ・ 名称変更は、こうした混乱を解消し、歴史的名称である「丹波篠山」を正式に地域の名称とすることを意味しています。

##### (3) 地域経済活性化への期待

- ・ 「丹波篠山市」への変更は、単なる名称の変更だけではなく、観光振興や交流人口の拡大を目的とした地域ブランディングの取組となりました。特に、観光客増加や、特産品のブランド価値向上など、地域経済への波及効果が期待されました。



【写真】河原町妻入商家群の街並み



【写真】黒大豆の畑

資料：写真 AC

## 4.5 名称変更に伴って実施した取組

### (1) 名称変更に伴う行政の費用負担

- ・ 篠山市から丹波篠山市に名称を変更するにあたって、丹波篠山市で主に発生した経費としては、看板作成委託料、市名変更広報宣伝業務、負担金補助、および、交付金等で、合計約 7,100 万円となっています。
- ・ これらの費用に加えて、市が実施する名称変更関連イベントの経費や、市民による「丹波篠山市」への名称変更を盛り上げ活動に対する補助金などが発生しています。
- ・ なお、市内の地域団体から名称変更の要望が正式に出された平成 29 (2017) 年に、匿名希望のふるさと納税 1 億円が『丹波篠山市』への市名変更にお使い願います」と寄付されたことから、実質的な公費負担を抑える形で実施されました。

### (2) 祝賀イベントと機運の醸成

- ・ 「丹波篠山市」への名称変更は、新元号「令和」の幕開けとなる令和元 (2019) 年 5 月 1 日に実施されました。このため、名称変更は全国的な注目を集める絶好のタイミングとなりました。
  - 記念式典の開催：令和元 (2019) 年 5 月 1 日、篠山城跡三の丸広場で「丹波篠山市誕生・市制 20 周年記念式典」を開催。式典は、日本遺産の認定を受けた「丹波篠山デカンショ節」の演奏やデカンショ踊りで開幕し、新市名の門出を祝いました。
  - 銘板の除幕式：市役所本庁舎の銘板を、地元の伝統工芸である「丹波焼」で制作。市長や園児らによる除幕式を行い、地域のアイデンティティを象徴する演出がなされました。

### (3) 「丹波篠山ブランド戦略」の策定

- ・ 名称変更後のブランド価値を維持・向上させるため、丹波篠山市では地域ブランドに関する具体的な戦略「丹波篠山ブランド戦略」(令和3～12年度)を策定しました。この戦略の中では、丹波篠山市の資源の中から「5つの宝石」を定義しています。

5つの宝石	内容
美しい町並みと農村景観	城下町や集落の風景
農の都、食の聖地	黒豆、栗、山の芋、ぼたん鍋など
歴史と文化、芸術	デカンショ節、丹波焼、祭礼
命輝く自然環境	多紀連山などの自然
丹波篠山人	伝統を継承する人々

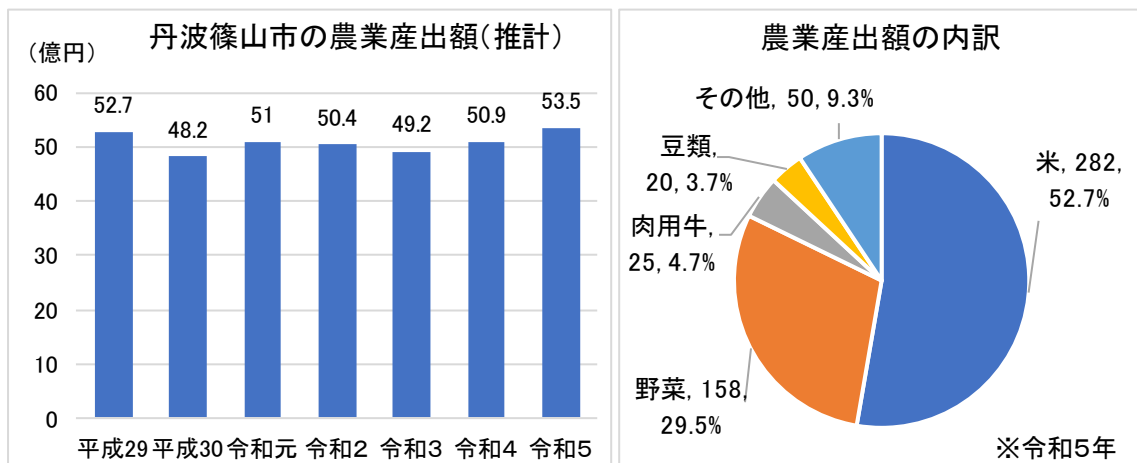
- ・ 「丹波篠山ブランド」のロゴマークを公募で選定しています。このロゴマークは、黒大豆・山並み・農村・太陽・イノシシの5要素を組み合わせたデザインで、地場産品と豊かな自然文化を象徴しています。
- ・ このロゴマークを地場産品のパッケージや紙袋、事業所や店舗に掲げる看板・壁面サイン等に使用する場合は、製作費用の一部を補助する制度があります。



資料: 丹波篠山市ホームページ

### (4) 農業分野の取組

- ・ 「丹波篠山」ブランドの育成に取り組み、特産品の「丹波黒大豆」は全国的なブランドに成長しています。令和3(2021)年には、「丹波篠山の黒大豆栽培～ムラが支える優良種子と家族農業～」が日本農業遺産に認定され、「丹波黒大豆」の伝統技術の継承と、ブランドイメージ強化に寄与しています。
- ・ 農業の担い手対策としては、新規就農者への研修・補助(農業機械・住宅補助等)や後継者育成支援を行っています。農業の大型化・大区画化に対応するため、スマート農機(ICT活用・自動運転トラクター等)の導入も進めています。
- ・ 丹波篠山市の農業算出額は50億円前後で推移しており、令和5年の算出額は、53.5億円で、その半分強が「米」となっています。



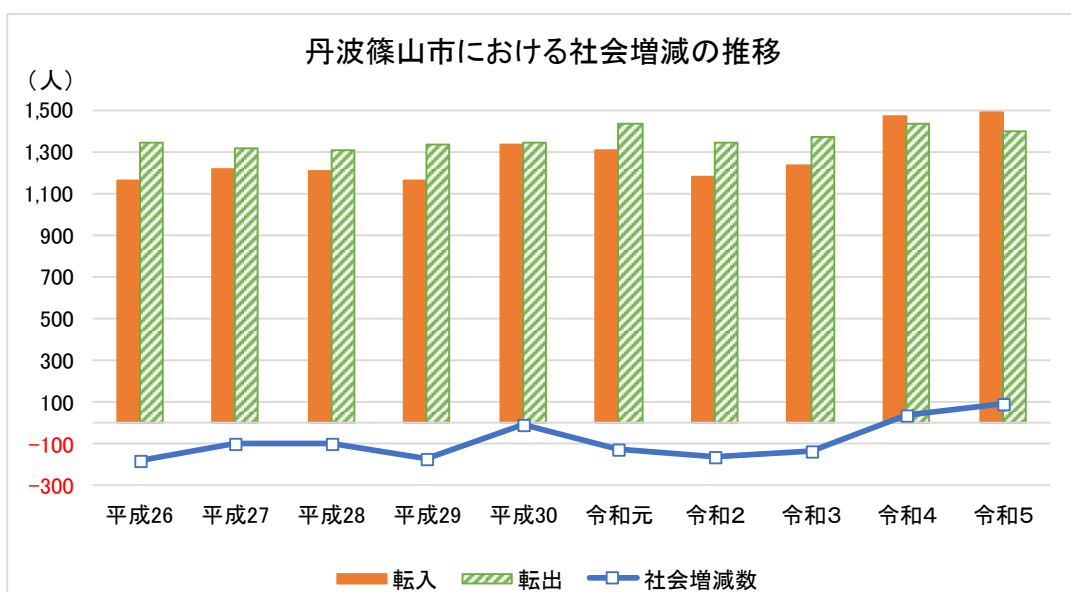
資料: 市町村別農業産出額(推計) 農林水産省

### (5) 企業誘致

- ・ 産業基盤強化の一環として市内に農工団地を整備し企業誘致を推進、令和5（2023）年3月に大阪の木材加工事業者の加工工場が操業を開始しています。令和5（2023）年11月には、兵庫県を代表する食品卸売業の加藤産業がPB商品を製造する食品工場（株式会社グリーンウッドファクトリー）が操業を開始しています。
- ・ 丹波篠山市では、農工団地の整備のほか、固定資産税減免、進出企業への補助金（新工場・設備導入）など支援制度を整備しています。

### (6) 移住定住の促進

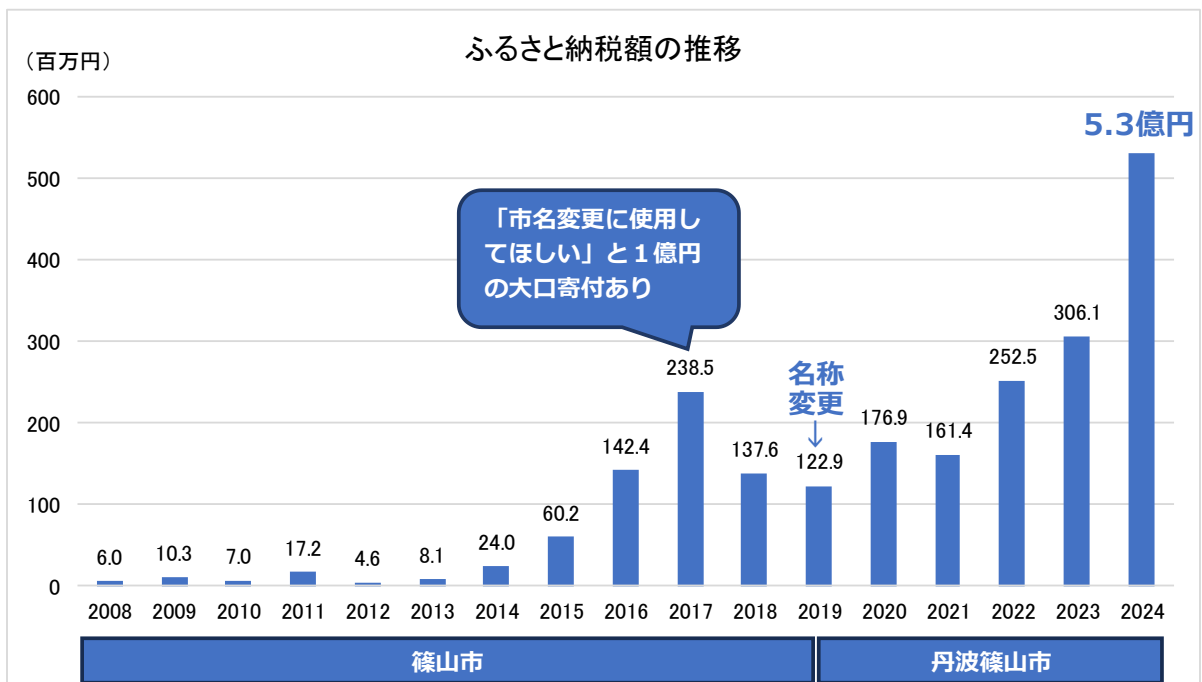
- ・ 丹波篠山市では、最重要課題である人口減少対策として、定住促進に関わるさまざまな支援を行っています。「丹波篠山暮らし案内所」では移住希望者が様々な相談を受けており、この案内所を経由して丹波篠山市に移住した人数は、令和5（2023）年度に80世帯208人にまで増加しています。市内で活用されていない空き家を登録する「空き家バンク」を運営しており、移住希望者とのマッチング活動を行っています。
- ・ 移住者への支援策としては、「丹波篠山暮らし定住住宅補助金」（最大60万円）や、子育て世帯への定住支援、結婚祝い金など、ライフステージに応じた多面的な補助制度を整備しています。
- ・ こうした取組の効果もあり、令和6（2024）年に神戸新聞社が実施した「兵庫県内で田舎暮らしするとしたらどの市町に住むか」というアンケート調査で、丹波篠山市は1位を獲得しています。さらに、宝島社が刊行する「田舎暮らしの本」では、「2025年第13回住みたい田舎ベストランキング」で、全国「人口3万人から5万人未満のまち」の総合部門で11位に選ばれています。
- ・ 丹波篠山市における過去10年間（平成26年～令和5年）の社会増減の推移を見ると、令和2年以降に転入者が増加しており、令和4年以降は社会増に転じています。



資料：丹波篠山市統計書

#### 4.6 ふるさと納税

- ・ 名称変更をめぐる議論は、ふるさと納税の金額にも影響を及ぼしています。市内の地域団体から名称変更の要望が正式に出された平成 29（2017）年には、匿名希望のふるさと納税 1 億円が『丹波篠山市』への市名変更にお使い願います」と寄付されたことから、納税額が前年度を大きく上回る状況となりました。
- ・ 住民投票が行われた平成 30（2018）年は、住民投票の議論が過熱した 8 月・9 月に対前年度比 1.6 倍の納税額を記録しました。市名変更を巡る議論や住民投票がメディアで取り上げられたことで市の知名度が上昇し、ふるさと納税が一時的に増加したと考えられます。市創造都市課の担当者は、この状況を「メディアに露出し、市の名前が広まったことが要因」と分析しています。
- ・ 名称変更から数年が経過した令和 4（2022）年以降、ふるさと納税額は堅調に推移しています。令和 6（2024）年のデータを見ると、納税件数 30,515 件、寄附金額は約 5.3 億円に達しています（2024 年の大幅増加は、米の返礼品への人気集中が一因となっている）。
- ・ 一時的なブームに終わることなく、「丹波篠山ブランド」への信頼が寄附基盤を強化していることが伺えます。



資料：ふるさと納税の受入件数及び受入額の実績について（総務省）

## 5 町名変更の話題性を活かすために求められる取り組み

### 5.1 観光振興に関する取組

#### (1) 観光振興に関する現状整理

- ・ 清水町を訪れる観光客の状況を、令和6（2024）年度「北海道観光入込客数調査報告書」で見ると、年間の観光入込客数が約16万人で、7月～9月に44.2%が集中しています。道内客7割、道外客3割の割合で、宿泊客数は年間5,600人ととどまります。
- ・ 宿泊施設の不足を補うため、町内の空き家や公営住宅、個人の住宅を使ったユニークな宿泊・移住体験「まちまるごとホテル」という取組を実施しており、無印良品とコラボした移住体験住宅や町民の自宅を使った民泊物件を宿泊予約サイト「Airbnb」に登録し、交流人口の拡大を図っています。
- ・ 令和7（2025）年8月に実施したアンケート調査では、「十勝清水町」に名称を変更することで「どこの地域にあるか、場所がわかりやすくなる」という回答が46.9%となっており、名称を変更することで「町の知名度」に影響するという回答が56.3%となっています。今後の清水町の訪問意向としては、道内在住者の59.1%、道外在住者でも43.4%が訪問に前向きな回答をしています。
- ・ 清水町は、道央圏から道東圏への玄関口という地理的優位性を有している一方で、多くの観光客にとって「通過点」となっています。しかし、町の名称を「十勝清水町」とすることで、「十勝ブランド」との結びつきが強まり、観光客に対する認知度が大きく向上します。十勝管内の市町村との連携を強め、十勝観光の玄関口としての強みを発揮し、広域観光の拠点としての役割を果たすことが期待されます。

#### (2) 観光振興の強化に向けた施策案

##### ①情報発信の充実

- ・ 「清水町」から「十勝清水町」への名称変更は、全国各地に存在する「清水町」との情報検索の混乱を防ぐことが大きな目的の一つです。
- ・ 町の公式サイトやSNSで「十勝清水町」としての周知を強化するとともに、インターネット検索において上位の検索結果を得るための「SEO対策」を進めることが重要です。
- ・ 現地までの交通アクセスに関する情報や、十勝管内の周遊プランに関する情報を充実し、道央圏や北海道外の旅行エージェントに情報提供することが必要です

##### ②旅行商品の充実

- ・ 十勝管内の観光協会・DMO・旅行会社と協力し、「ガーデン巡りツアー」「酪農体験ツアー」「十勝グルメツアー」などの体験型観光商品を開発し、その中で本町を「十勝の入り口」として位置づけます。

- ・ 町内の観光資源では、ガーデン（十勝千年の森）、アグリツーリズム（農業体験）、グルメ体験（十勝清水牛・牛玉ステーキ丼等）、自然体験（日勝峠、十勝平野の展望）などの資源を組み込むことができます。
- ・ こうした旅行商品の提供に向けて、地元の宿泊業者・飲食店・農業者との連携を強化し、地域一体となった受入体制を構築することが求められます。

### ③道の駅を核とした「十勝の玄関口」の確立

- ・ 道東自動車道や国道 38 号からのアクセス性を活かした「道の駅」を整備し、十勝観光・交流のハブとして機能させることで、清水町が抱える「通過点」という観光面の課題解決につなげます。
- ・ 「十勝清水町」への名称変更から数年以内に開業することができると、名称変更の話題性から道の駅開業の話題性につなげることとなり、「十勝清水町」の名称を継続的に広めることができます。
- ・ 道の駅では、地元産の高品質な肉製品（十勝若牛、牛とろフレーク等）、十勝産生乳を活用したチーズ・乳製品等を販売するとともに、地元農家と連携した「朝採れ野菜」の直売コーナーや地元グルメが楽しめる飲食店を設置します。
- ・ 物販や飲食の機能に加えて、町内で展開している民泊のフロント機能、観光案内や体験プログラムの受付、周辺自治体への周遊ルートの提示など、コンシェルジュ機能を強化し、「十勝の玄関口」の機能を果たします。
- ・ さらに、子どもたちが冬期間も体を動かせる屋内遊園、温浴施設、食品スーパーなども併設（あるいは近隣に集約）できると、町民も集まり賑わいの創出につながります。
- ・ 共和町に建設中の道の駅「かかしの郷（さと） きょうわ」（令和9年度オープン予定）は、農産物販売スペース・レストラン・屋内遊戯施設・温浴施設・キャンプ場などを設置する施設となっています。

【共和町に整備中の道の駅イメージ図】



資料：共和町ホームページ

#### ④受け入れ環境の整備と通年型観光

- ・ 清水町は、宿泊施設の不足が観光面での課題となっており、現在取り組んでいる宿泊予約サイト「Airbnb」に登録した民泊や移住体験住宅の充実に力を入れる必要があります。さらに、従来のホテル、旅館、民泊に加えて、ペンション、農家民宿、グランピング施設など、多様な形態の宿泊施設の誘致・育成を図る必要があります。
- ・ 町内で体験できるアクティビティについても、登山、サイクリング、食体験プログラムなどの拡充を図り、季節を問わない通年型観光を実現することが求められます。

#### ⑤リピーター・関係人口の創出

- ・ 観光客を一度の来訪で終わらせず、継続的な関係を築くことが重要です。来訪者向けの会員制度やメルマガ配信、SNS フォロー誘導による継続接点の確保、ふるさと納税や特産品販売ページとの連動などの取組を行うことで、観光客を「十勝清水町ファン」へと育成することが求められます。

## 5.2 ふるさと納税に関する取組

### (1) ふるさと納税の現状整理

- ・ 令和6（2024）年度の清水町におけるふるさと納税受入額は、約4.6億円（寄附件数約2.8万件）で、前年の令和5（2023）年度を大きく上回っています。1件あたりの平均金額は、1.62万円で、北海道平均の1.87万円、全国平均の2.17万円を下回っています。
- ・ 主な返礼品は、十勝地域の強みである乳製品（アイスクリーム、牛乳、チーズ等）や畜産物（十勝若牛・牛とろフレーク等）が中心となっています。
- ・ 令和7（2025）年8月に実施したアンケート調査では、ふるさと納税の返礼品に「魅力的な品があれば寄附したい」という意向が多数を占めており、返礼品として選びたい特産品でも、「プレミアムアイスクリーム」「十勝若牛」「牛とろフレーク」が上位に来ています。現在の返礼品の充実で納税者の期待に応えることは可能と考えられます。
- ・ ふるさと納税で寄附を行う人の年齢構成は、全国傾向では30～40歳代が最多とされ、都市部在住のファミリー層が多いと考えられます。アンケート調査の結果では、「十勝清水町」になった場合にふるさと納税してみたいと回答した割合は40歳代が最も高く、ふるさと納税のメインターゲットと合致しています。

### (2) ふるさと納税の強化に向けた施策案

#### ① 返礼品の充実

- ・ ふるさと納税の返礼品としては、十勝ブランドを活用した牛肉や乳製品が中心になります。地元生産者と協力しながら返礼品の質を向上させるとともに、納税件数の増加に対応するため量の確保に努めます。顧客満足度を高めるために、セット商品や定期便など多様な提案を行います。
- ・ 現在ある「ふるさとブランドとかちしみず認証制度」を強化し、ブランド品としての付加価値を高めます。返礼品に「十勝清水町産」を明記するとともに、名称変更をきっかけにした新たな商品開発を行います。現在のふるさと納税1件あたりの金額は全国平均を下回っておりますが、「十勝ブランド」を活用することで、より高単価な納税件数を増やし、ふるさと納税額のアップを目指します。
- ・ ふるさと納税の新しい形として、旅先でスマホ等を利用して納税手続きを行い、その場で利用できるデジタルチケット方式の返礼品を受け取るサービスを導入する自治体が増えていきます。こうした新しいスタイルの納税方式の導入も検討します。
- ・ 観光連携型の返礼品として、牧場見学やアイスホッケー体験、農業体験ツアー等の商品を開発します。デジタルチケット方式の返礼品で宿泊や観光プランとセット化することができると、滞在型観光を増やすことができます。

### ③名称変更を活かしたブランディング

- ・ 新しい名称「十勝清水町」の認知度を一気に高めるため、ロゴマークやキャッチコピーを刷新することも効果的です。雄大な牧場風景やブランド牛など「十勝」を連想させるキーワードとビジュアルを前面に押し出し、PR素材に反映します。

### ④プロモーションの充実

- ・ インターネット検索で上位に来るように対応する「SEO対策」や、SNSへの広告出稿を実施し、ふるさと納税返礼品のプロモーションを充実します。検索連動型広告では、「十勝清水」「十勝」「ふるさと納税」等のキーワード最適化を図ります。また、ふるさと納税ポータルの特集や動画広告などを積極的に活用することも効果的です。
- ・ InstagramやFacebook等の町公式アカウントを運用し、返礼品の紹介や町の魅力（風景・食文化など）を紹介する動画を作成し積極的に発信します。徳島県徳島市では、2名のインフルエンサーがふるさと納税返礼品を実際に試食・体験した動画をSNSで発信し、注目を高めました。こうした取組を参考に取組を進めます。
- ・ これまで清水町に対して寄附を行った納税者向けに、ニュースレターを発行し、返礼品情報や季節キャンペーン、地元イベントなどを配信し、再寄附につなげます。

## 5.3 移住・定住促進に関する取組

### (1) 移住・定住促進に関する現状整理

- ・ 清水町では、移住体験の機会や関係人口を創出するために、移住希望者向けの体験住宅の整備や、町民や自治体職員による民泊運営などの取組を行っています。
- ・ 町民が移住体験住宅の新築や民泊向けリフォーム工事を行う場合は、新築で最高 100 万円、リフォームで 50 万円を支払う補助事業を実施しています。
- ・ 町内で新たに住宅を取得・建築する場合には、最高 100 万円の奨励金を受けることができます。親族との同居近居の場合は、さらに奨励金が加算されます。
- ・ 子育て世代向けの移住・定住対策として子育て・教育環境の充実にも力を入れており、妊婦支援給付金や出産祝金による支援、保育料の補助、保育所・学童の増設などに取り組んでいます。

### (2) 移住・定住促進の強化に向けた施策案

#### ①移住プロモーションの強化

- ・ 名称変更による町の知名度向上は、UIJ ターン希望者にとって「名前の知られた地域」への移住という安心感を提供することに繋がります。
- ・ 名称を「十勝清水町」へ変更することを契機に、メディアでの扱いが増えるとともに、町の魅力を発信するプロモーションを積極的に行うことで、十勝ブランドを前面に押し出した移住・定住戦略を展開することができます。
- ・ 無印良品の協力を得てリノベーションした移住体験住宅は人気が高く、今後も、こうした特徴ある施設を整備することが求められます。

#### ②移住・定住支援策の拡充

- ・ 移住を決意した層を、確実に定住に導くための支援を強化することが重要です。
- ・ 移住定住に対する相談を効率的に受けるために、移住相談窓口のワンストップ化（空き家情報の提供、仕事や子育ての相談対応、各種補助事業の手続きサポートなど）を進めるとともに、北海道の移住定住窓口との連携をすすめます。
- ・ 移住先の子育て環境を重視する傾向は強く、「子ども達のがのびのびと育つ環境」「特徴ある教育を行う幼稚園・小学校」などの特徴があると、他自治体との差別化に繋がります。道南の厚沢部町では、企業向けワーケーションプランに合わせて、町内の認定こども園が「保育園留学」という形で子どもを一時的に受け入れることで、差別化を図っています。
- ・ 移住者が孤立しないように、移住者同士のネットワーク（十勝管内広域の組織でも）を形成し、日常的な生活情報の提供や移住者同士の情報交換・交流の場づくりなどのサポートを行うことも必要となります。

## 5.4 企業誘致に関する取組

### (1) 企業誘致の現状整理

- ・ 清水町では、町内への新規進出や事業拡大を検討する企業・個人に対し、様々な補助制度を運用しています。
- ・ 町内で新たに起業する事業者、新分野での事業展開、既存店舗の建て替え・全面改修を行う事業者に対しは、設備投資費用の一部を補助する「清水町起業等スタートアップ支援事業」を実施しています。令和6（2024）年度からは、清水町商工会への加入を要件としており、地域経済への定着を重視した運用を行っています。
- ・ 清水町内に新たに立地する企業は、「清水町企業立地促進条例」に基づき、投資金額と雇人数に応じた補助金を受けることができます。

### (2) 企業誘致の強化に向けた施策案

#### ① 「十勝ブランド」の戦略的なPR

- ・ 企業が新たな立地先を選定する場合、立地場所の名称は、商品のブランドや企業イメージに直結します。食品業界であれば、「十勝産の原材料」や「十勝で加工」というストーリーは、流通業者や消費者に対して強力な説得力を持つこととなります。
- ・ 「清水町」という名称のままでは、取引先に対して「北海道の十勝にある清水町」という補足説明が必要でしたが、「十勝清水町」となることで、その説明の手間を省くことができ、「十勝＝北海道を代表する農業地域」という立地環境が伝わります。
- ・ 広大な農地や高品質な原料といった現在の強みに加えて、「十勝清水町」という新名称がもたらすストーリー性（十勝産の原料を十勝で加工する価値）を加えて、企業立地セミナーや企業誘致パンフレットで発信することが重要です。

#### ② 関係機関が連携した受皿づくり

- ・ 新たな工業団地の造成や工場跡地の有効活用、立地企業への補助金や税制優遇制度の充実など、企業誘致策を進めることが求められます。
- ・ 町役場、JA 十勝清水、商工会、国、道庁、金融機関など関係機関が協力し、進出企業の誘致や受け入れ態勢の構築を進め、進出企業と地元生産者をマッチングし、原材料供給や販路支援などに取り組むことも重要です。

# 資料編（住民説明会向け資料）

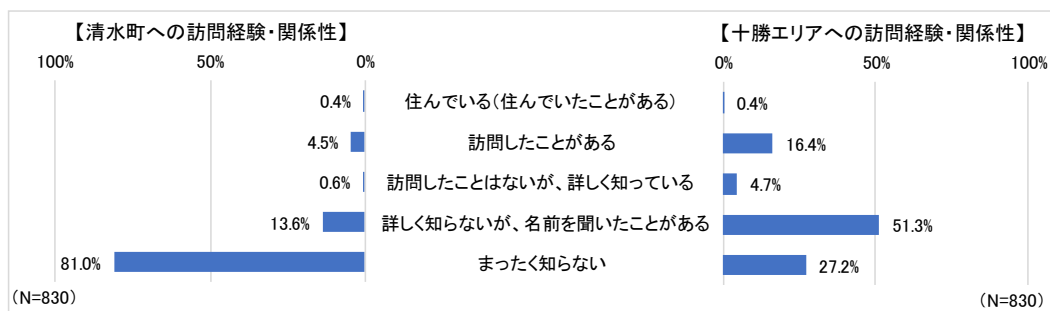
## 「十勝清水町」への町名変更に対するインターネット調査の結果

民間企業のインターネットアンケートサービスを活用し、①清水町の全国での認知度、②「十勝清水町」への変更による効果、③町名変更の特産品購入やふるさと納税への効果などを把握しました。

道外在住の回答者（830人）から見た清水町の状況について、主な調査結果を紹介します。

### ① 清水町・十勝エリアの認知度

- 清水町の認知度については、81.0%が「まったく知らない」と回答している。
- 十勝エリアについては、51.3%が「詳しくは知らないが、名前を聞いたことがある」と回答している。

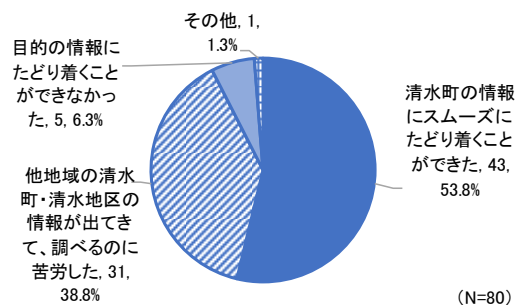


### ② 清水町に関するインターネット検索

- 清水町に関する情報をインターネット検索した経験があるのは、9.6%と少数。
- 清水町に関する情報検索をする際に、「他地域の清水町・清水地区の情報が出てきて、調べるのに苦労した」人が38.8%いる。



#### 【情報にスムーズにたどり着くことができたか】

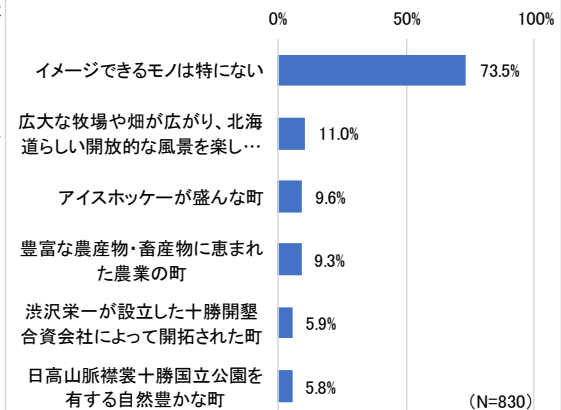


### ③ 清水町のイメージと合致するもの

- 清水町のことを知らない回答者がほとんどのため、「イメージできるモノは特にない」という回答が全体の73.5%となる。
- 一方、十勝エリアについては、「スイーツが人気」「雄大で優れた景観」「野菜類が豊富」のイメージが20%以上の回答を得ている。

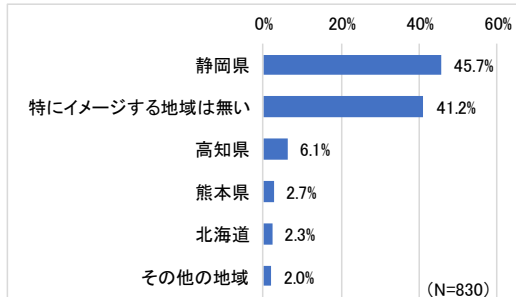


#### 【清水町に持っているイメージと合致するもの】



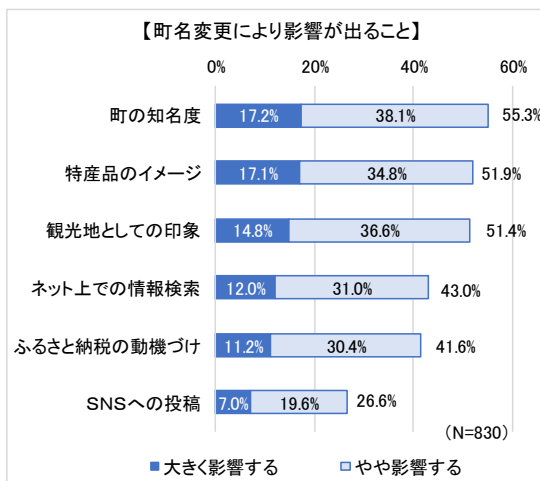
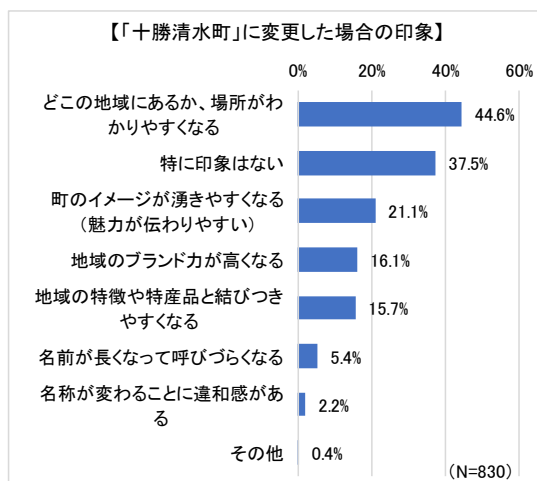
#### ④「清水」という地名を見て思い浮かべる地域

- 「清水」で思い浮かべる地域は、「静岡県（静岡市清水区、駿東郡清水町）」が45.7%で最も多く、続いて「特にイメージする地域は無い」が多い。
- 「北海道（上川郡清水町、斜里郡小清水町）」と回答したのは、わずか2.3%。



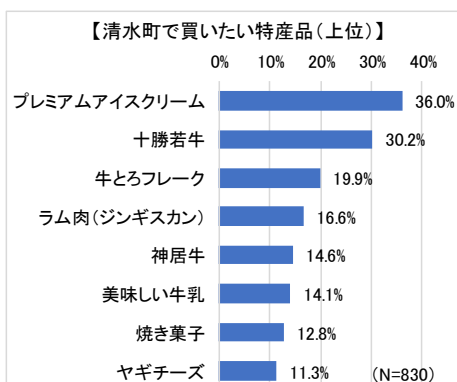
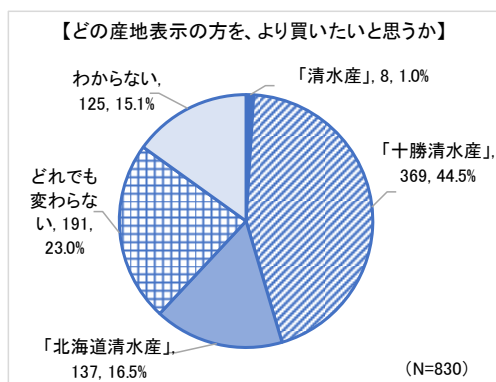
#### ⑤「十勝清水町」に変更した場合の印象

- 「十勝清水町」に変更した場合の印象は、「どこの地域にあるか、場所がわかりやすくなる」という回答が44.6%で最も多い。一方で、「特に印象はない」という回答も37.5%ある。
- 町名を変更した場合に影響が出ることは、「町の知名度」が最も多く、「特産品のイメージ」「観光地としての印象」が続いている。



#### ⑥特産品購入やふるさと納税の意向

- 特産品の産地表示については、「十勝清水産」が良いという回答が最も多い。
- 特産品購入やふるさと納税は、「魅力的な品があれば」希望する人が多く、購入したい特産品は「プレミアムアイスクリーム」「十勝若牛」「牛とろフレーク」が上位人気。



## 「十勝清水町」への町名変更によるメリット・デメリット

「清水町」から「十勝清水町」に名称を変更した場合のメリット・デメリットについて、町民、事業者、行政それぞれの立場から整理しました。

	メリット	デメリット
町民	<ul style="list-style-type: none"> <li>①郷土愛と一体感の醸成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対外的な知名度や「十勝」ブランドによるイメージ向上</li> <li>・ 町民の地域に対する誇りが高まる</li> </ul> </li> <li>②情報の正確性向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道十勝地域の自治体であるという認識が高まる</li> <li>・ 他地域の「清水」との混同が解消する</li> </ul> </li> <li>③生活の質向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町の税収がアップし、公共サービスやインフラ整備への再投資</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住所変更手続き（一部民間サービス）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民が実施する必要がある行政的な事務手続きは、限定的なものに止まる</li> <li>・ 民間企業への変更手続きは、各企業により取扱いが異なる</li> </ul> </li> <li>②心理的な抵抗感と愛着喪失の懸念               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心理的な抵抗感や愛着喪失の懸念が生じる可能性がある</li> </ul> </li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①販路拡大と地域ブランド価値向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の特産品に「十勝ブランド」という付加価値を提供</li> <li>・ 販路拡大、商品単価上昇、プロモーション効果の向上</li> </ul> </li> <li>②観光客・来客の増加               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題性や場所が明確化することによって、旅行者の訪問意欲が向上</li> <li>・ 観光関連産業全体に波及し、地域経済を活性化</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住所表記変更にかかるコストの発生               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネス活動に使用する全ての資材の住所表記を刷新しなければならず、多額の費用が発生する</li> </ul> </li> <li>②顧客・取引先への周知負担               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町名が変更されたことを説明し、住所変更を周知する手間と費用、新住所の登録手続きが発生</li> </ul> </li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ブランド戦略の統一と実行力の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光誘致、移住促進、特産品 PR といった施策が、十勝エリアの持つ強力なイメージと一体的に展開できる</li> </ul> </li> <li>②全国的な認知度と広報効果の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メディア露出や SNS での話題性を生み出し、コストをかけずに町の認知度を向上させる</li> </ul> </li> <li>③情報発信の効率化と財政への貢献               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネット検索において、「十勝清水町」の情報が正しく表示されるようになり、行政が発信する情報が観光客や移住希望者に確実に届くようになる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①初期変更コストの財政的負担               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎の看板、道路標識、広報物、住民基本台帳などの各種データベースの改修・更新費用といった多岐にわたる初期投資が発生する</li> </ul> </li> <li>②変更手続きに関する住民対応の負担               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称変更の移行期間中、住民や事業者からの住所変更手続きに関する問い合わせや、公的書類の書き換えサポートなど、行政窓口の業務量が増加する</li> </ul> </li> </ul>

## 町名変更にもともない発生する住所変更等の手続き

- ・ 町名変更は、町民の生活に深く関連するため、総務大臣によって町名変更の旨の告示がなされ、また、国の関係行政機関の長にあてた通知により広く全国に周知されます。
- ・ 国、道、町などの行政機関では、総務大臣の告示および通知により、各種手続きにおける住所変更の手続きがなされたものとみなすことになるため、町民が実施する必要がある行政的な事務手続きは、限定的なものに止まると予想されます。
- ・ ただし、銀行口座・クレジットカード・保険契約など民間企業への変更手続きは、各企業により取扱いが異なるため注意が必要となります。

### 【町名変更にもとなう手続き：主なものを抜粋】

手続きがあるか 確認が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 銀行口座（普通預金は不要、当座預金・融資取引がある場合は確認が必要）</li> <li>・ 保険契約（契約先の企業に確認が必要）</li> <li>・ クレジットカード（カード発行先の企業に確認が必要）</li> <li>・ 有価証券（株式）（証券会社等に確認が必要）</li> </ul>
切替などのタイミングで 手続きが必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイナンバーカード（町名変更後、来庁した際に住所変更の内容を記載）</li> <li>・ 自動車運転免許証（免許更新の際に新しい住所表記で発行）</li> <li>・ 自動車検査証の住所（譲渡・廃車の際は、役所が発行する証明書などが必要）</li> </ul>
特に必要な 手続きはない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民票、戸籍                      ・ 印鑑登録証                      ・ 住民基本台帳カード</li> <li>・ 旅券（パスポート）→「所持人記入欄」の現住所は自分で修正</li> <li>・ 国民健康保険被保険者証                      ・ 身体障害者手帳</li> <li>・ 国民年金被保険者の住所                      ・ 国民年金、厚生年金の受給者の住所</li> <li>・ 不動産（土地・建物）登記簿の「所在」</li> </ul>

## 【参考】令和元年に名称変更した「丹波篠山市」の事例

①周辺自治体 との差別化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「丹波篠山」という名称が「丹波篠山市のことを指している」と回答した人の割合が、平成 29 年の 23.1%から令和 5 年では 56.3%へと約 2.4 倍に増加。</li> <li>・ 一方で、「丹波市と丹波篠山市の両方のことを指している」と回答した人の割合は 44.7%から 15.9%に減少。</li> <li>・ 名称変更が、地名の混乱解消に有効であったことが証明されている。</li> </ul>
②経済効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称変更前の平成 29 年に実施した調査では、市名変更による地域経済への影響額は 52 億円と算定。</li> <li>・ しかし、名称変更後の令和 5 年に実施した検証調査では、この影響額が約 1.4 倍にあたる約 75 億円へと大幅に増加したことが判明した。</li> </ul>
③行政の財政負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丹波篠山市では、市のコンピューターシステムの改修や公共施設の銘板改修などで約 6,600 万円、企業の看板変更など民間への補助が約 3,200 万円、合計で約 9,800 万円の支出があった（いずれも予算ベース）。</li> </ul>

## 清水町 町名変更に関する町民説明会資料 R8.02

人口減少・産業構造の変化・地域間競争の激化など、私たちを取り巻く環境は近年、これまでにないスピードで変化しています。観光・移住・企業誘致など、様々な分野で全国的な競争が進む中で、自治体の「名前」が検索や情報発信において果たす役割は以前よりも大きくなり、インターネット検索、旅行予約サイト、SNSなどの分野では、地域名称の分かりやすさ・認知度が、実際に選ばれる確率へ直結するようになってきています。

こうした外部環境の変化を踏まえ、本町としても未来に向けて、総合計画の目標達成に向けた観光振興や関係人口づくり、企業誘致、人材確保といった各分野で、中長期的な取り組みを展開していく必要があると考えています。

その中長期的な取り組みの一つとして、町名を「清水町」から「十勝清水町」に変更することを提案させていただいております。

「十勝」という名称は、道内外で一定の認知度やイメージを持っており、この名前を正式名称に組み込むことで、「場所がイメージしやすくなる」、「地図や検索、予約サイトなどで“十勝”と結びつきやすくなる」といった意味で、ブランド力向上につながる可能性はあると考えています。

町名変更については、今後、住民投票により町民の皆様のご判断をいただきたいと考えております。その判断の材料として、この資料をご参考としていただければと思います。



### 清水町の名前の由来や、名称の変遷を教えてください。

「清水」は、アイヌ語で「明るく清らかな川」を意味する「ペケレベツ」を意識したものです。

明治32年に開設した「ペケレベツ駅」の取扱人である村山和十郎は、人舞村と屈足村を直轄していましたが、駅名と一致せず行政・経済的に不便なため、昭和2年9月25日に「清水村」と改めました。

昭和11年1月1日より町制が施行され「清水町」となり、その後、昭和31年に「御影村」と合併し、現在の清水町となりました。



### なぜ、まちの名前を変えようとしているの？

同じ名前の自治体や地域が全国にあることで、検索しても別の地域が先に表示されたり、町の場所が伝わりにくい場面があるためです。

その背景には「もっと、清水町のことを知ってもらいたい」という思いがあります。

ブランド力がある「十勝」というイメージを名前に反映できれば、町の魅力がより伝わりやすくなるのではないかと。

そういった考えが、町名変更を検討するきっかけになっています。



## まちの名前を変えることで、どのような未来を描いているの？

町の存在が広く知られ、魅力や地元産品の価値が自然と伝わりやすくなる未来を描いています。

その結果、ふるさと納税や観光、地元産品のPRチャンスが増え、ブランド力や発信力の向上につながると考えています。

まちの名前をきっかけに、「どんな町なんだろう？」と多くの人に興味を持ってもらえる。そしてそこから、企業誘致や町の利益を増やし、みなさんへ還元して再活性化につなげたいという前向きな思いがあります。

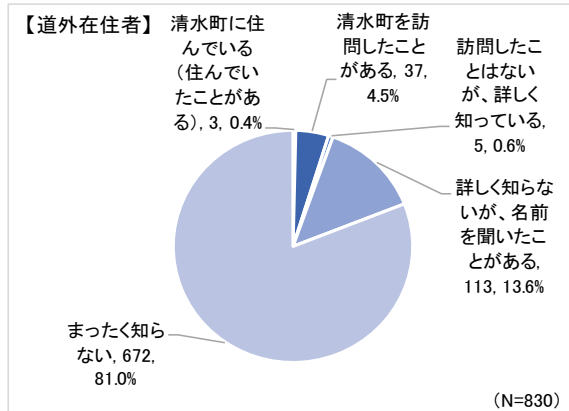
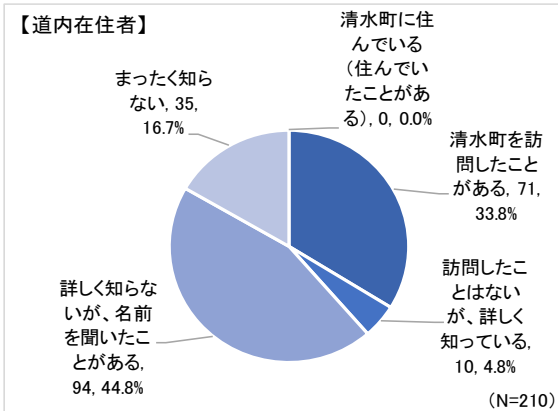


## 私たちの住む清水町は、全国でどのくらい認知されているの？

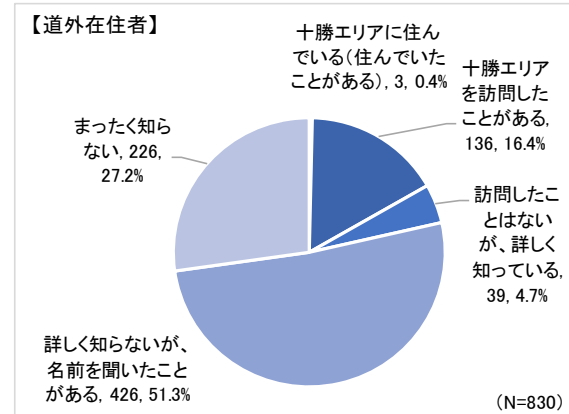
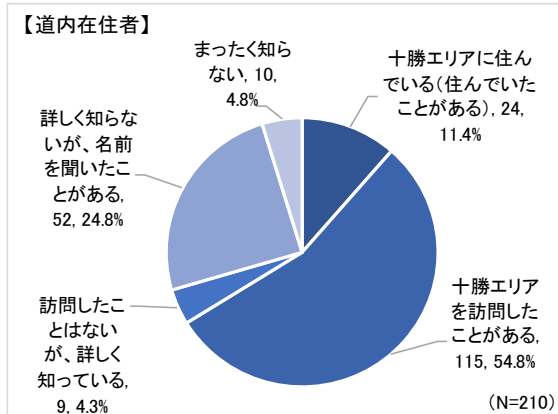
民間企業のインターネットアンケートサービスを活用し、道外在住者を対象に清水町に関する認知度について調査したところ、81.0%が「まったく知らない」と回答しています。「詳しく知らないが名前を聞いたことがある」が13.6%で、ほとんどの人が清水町を知らない状況です。

一方、十勝エリアについての質問では、51.3%が「詳しくは知らないが、名前を聞いたことがある」と回答しています。

「北海道清水町」を訪問したことがありますか？知っていますか？



北海道の十勝エリア(十勝総合振興局管内)を訪問したことがありますか？





## 全国にある、「清水町」「清水」という地区を教えてください。

「清水町」という町は、本町のほかに、静岡県駿東郡清水町があります。

「清水」とつく地区で最も有名なのは、静岡県の「静岡市清水区」(旧清水市)でしょう。サッカーの街、清水の次郎長、三保の松原、テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」の舞台などで、知られています。

全国には、「清水町」という名称の住所表記はたくさんあります。下の地図に、主な地区とその地区の人口を整理しました。

図表 「清水町」「清水」という名称の地区がある主な自治体と地区の人口



資料：令和2年度国勢調査（総務省）

※京都市は各区の「清水町」と「〇〇清水町」の合計人数

※熊本市北区は「清水本町」「清水亀井町」「清水東町」の合計人数



## 町名変更は、今すぐに行う必要があるのですか？時間をかけて議論した方が、良いのではないですか？

清水町では、未来に向けて、総合計画の目標達成に向けた観光振興や関係人口づくり、企業誘致、人材確保といった各分野で、中長期的な取り組みを展開しています。

その際に、町の名称はすべての施策の“基盤”となる要素であり、これからの5年～数十年という単位で行う町づくりにおいて、名称が途中で変わることは、PR・投資・情報整備において少なからず影響を及ぼします。そのようなことから考えると、名称の在り方については、できるだけ早い段階で方向性を整理しておく必要があると判断しました。

一方で、町名変更は町長の一存で決めるものではありません。そのため、情報提供の期間の確保や説明会によるご意見の聴取、町民の皆さまに判断いただく住民投票の実施といった一連のプロセスを事前に整理し、スケジュールとしてお示しして進めています。「結論ありき」ではなく、未来の清水町を見据えたまちづくりのために、早めに議論をスタートしたという位置づけです。



## 現在もホームページ等で「十勝清水町」を愛称として活用しています。多額の公費を投じて正式名称を変更する理由は何ですか？

「愛称としての利用」のままでは、媒体によって「清水町」「十勝清水町」「北海道清水町」と表記が分かれることや、検索や地図上で「十勝」と結びつかない場合があることなど、名称の統一性・認知性の面で一定の限界があります。

正式名称が「十勝清水町」となった場合には、住所・登記等の表記や公共施設名称、地図・ナビゲーション、観光・予約サイト上の表記、全国メディア表記などが一貫して同じ名称で統一されるようになります。そうすれば、愛称と正式名称が統一され認知度が向上すると考えています。

一方、町名変更に伴って、表示の変更やシステム改修費用、住民・事業者の皆さまや関係者への周知など、公費の支出と皆様の一定のご負担が発生します。

長期的に見た効果、発生する費用や負担、将来世代への影響などを総合的に比較し、「町として投資に見合う判断なのか」という視点で、慎重に検討しています。



### 「清水町」という名に愛着があるのですが。

町名変更は、決して現在の「清水町」という名前や、町民の皆さまが積み重ねてこられた歴史や誇りを否定するものではありません。

むしろ、その歩みを大切に受け継ぎながら、将来世代がこの町で暮らし続けられるようにするために、「清水」という名称を残すことを前提として検討しているものです。

また、「十勝清水」という呼び方は突然生まれたものではなく、すでに JR や JA、道東道インターチェンジなどで使われており、町内外で自然に認識されてきた名称でもあります。

町名変更は全く新しい名称を作るのではなく、すでに広く使われてきた「十勝清水」という名称を正式な町名として統一し、分かりやすく発信していくためのものです。



### 周辺自治体や町内の団体の了解は得ているのですか？

「十勝」の名称を自治体名につけることは、十勝管内の首長の皆様に経過や思いを伝えております。また、町内の商工会、観光協会、農協からも賛同を得ています。



### 町名変更の決定に、私たち町民の意向は反映されますか？

町名変更について、町民の皆さんの意思を問うための住民投票の実施を検討しています。住民投票の対象は、選挙権のある 18 歳以上の町民を想定し、早ければ令和 8 年 5 月頃に実施できればと考えています。

住民投票の結果は尊重いたします。町名変更への賛成が過半数を上回れば、「十勝清水町」への変更に向けた手続きを進めますし、反対が過半数を上回れば変更しません。



## 住民アンケートを行わず、住民投票を実施する理由は何ですか？

今回の町名変更の議論にあたっては、町民の皆さまのお声を多面的に何うことが重要と考えてきました。そのため、まちづくり懇談会、個別のご意見・ご提案、町議会での議論など、いくつもの機会を通じて、幅広くご意見を頂戴してきました。

住民アンケートは、大切な意見把握の手段ではありますが、回答者層の偏りや設問内容による印象の影響、結果のみが一人歩きするリスクなどが避けられません。また、住民投票の前段階で、「賛成か反対か」という形式のアンケートで賛否を数値化すると、その結果だけが強く意識され、町民同士の思いや考えが、必要以上に対立的に受け止められてしまう恐れがあると判断いたしました。

アンケートで“仮の結論”を出すのではなく、できる限り丁寧に情報提供と対話を重ねたうえで、正式な住民投票を実施し町民の皆さまに最終判断いただくという手順が、より公正で責任ある進め方だと考えております。

なお、住民投票の経費として 500 万円程度を見込んでいます。



## 合併以外で、自治体名称を変更した事例はあるのですか？

市町村合併以外の自治体名称変更した事例は少なく、最新の事例は、2019 年（令和元年）5 月 1 日に、兵庫県の「篠山市」が「丹波篠山市」に変更した事例があります。隣接する「丹波市」との混同を避けることや、特産品である「丹波黒大豆」の産地であることを明確にすることなどが変更理由となっています。

北海道内では、1990 年（平成 2 年）9 月 30 日に、「東利尻町」から「利尻富士町」に変更した事例があります。町の知名度向上による活性化と、親しみと誇りの持てる町への発展を図るため、利尻島のシンボルである名峰「利尻富士」の名称を冠しました。

## 町名変更が決まった場合・・・



### どういった住所になるのですか？

北海道上川郡十勝清水町となります。その後続く住所表記は、現在と同一です。町役場の住所であれば、「北海道上川郡十勝清水町南 4 条 2 丁目 2 番地」となります。



### いつから町名が変わるのですか？

令和 8 年 10 月の変更を目指しておりましたが、関係省庁への手続きや行政システムの変更に時間を要することが判明したため、令和 9 年中に変更することにしたいと思います。

町名が変更となる日まで、変更することの周知や町の PR を行い、町の認知度向上に努めます。

具体的な日付が決まりましたら速やかにお知らせいたします。



### 現在の町旗や町歌も変わるのですか？

町名が「十勝清水町」と変更になっても、現在の町旗・町歌は、これまでどおり継続して使用する方針です。清水町の歴史とともに歩んできた象徴として、今後も大切にしていきたいです。



### 私たち住民はどのような手続きを行う必要がありますか？

住民票や戸籍は、行政側で自動的に変更します。マイナンバーカードや自動車運転免許証は、更新時に新しい住所の記載になります。

金融機関への変更手続きは、基本的にありません。その他、クレジットカード、保険や携帯電話などの契約は、それぞれ、相手先の企業への確認が必要となります。また、有価証券（株式）については、証券会社への確認が必要となります。



## 町内の企業には、どのような手続きや作業が必要になりますか？

事業者の皆様は、名刺、印鑑、封筒、会社案内、ホームページ、看板、商品パッケージなど、ビジネス活動に使用する全ての資材の住所表記を刷新する必要があります。

特に、食品製造業などパッケージの在庫を多く持つ事業者にとって、自治体名称変更に伴うパッケージ変更コストは、大きな負担となります。名称変更決定から、実際の変更までの移行期間を十分に設けることが必要であると認識しています。ただ、既に作成した食品表示資材は、当面の間使用することは認められます。

旧町名で長らく認識されてきた顧客や全国の取引先に対し、町名が変更されたことを説明し、住所変更を周知する手間と費用、新住所へ定款を変更する必要があります。

なお、商標登記については、法律により変更があったとみなされるため申請の必要はありません。

このように、事業者の皆様にはご負担をお掛けすることとなります。町としまして、一定のご支援を行ってまいりたいと思います。



## 町名変更に伴う町の負担は、こういったものがありますか？

### ① 初期変更コストの財政的負担

町名変更において、行政は、物理的なインフラと情報インフラの双方で費用が発生します。

住民基本台帳や戸籍システム、固定資産台帳などの各種データベースの改修・更新費用として最大 1 億円程度、役場・文化センターの銘板改修に 100 万円程度を見込んでいます。

あわせて、町内の民間事業者が印刷物や看板等の変更に伴い発生する費用に対する補助金として 1,000 万円程度を想定しております。

その他、道路標識（町管理のみ）などの変更が必要な場合もありますが、財政状況を見ながら必要に応じて逐次変更を行ってまいります。

令和元年に名称変更を行った兵庫県の丹波篠山市では、市のコンピューターシステムの改修や公共施設の銘板改修などで約 6,600 万円、企業の看板変更など民間への補助が約 3,200 万円、合計で約 9,800 万円の支出がありました（いずれも予算ベース）。

### ② 変更手続きに関する住民対応の負担

名称変更の移行期間中、住民や事業者からの住所変更手続きに関する問い合わせや、公的書類の書き換えサポートなど、行政窓口の業務量の増加が想定されます。

この一時的な業務集中に対応するためには、人員配置の強化などが必要となり、人件費の増加も行政負担となります。



## 町名が変わったら、どんな効果がありますか？

### ① 短期的な効果

#### 【認知度向上と広報による広告効果】

北海道内の自治体名称変更は、1990年の利尻富士町（旧東利尻町）以来となり、大きなニュースバリューを持ちます。名称変更の動きは、メディア露出や SNS での話題性を生み出し、コストをかけずに町の認知度を向上させる効果が期待されます。

ちなみに、新聞紙面に広告を出した場合、数十万円から数百万円が必要となります。

#### 【情報発信の効率化】

同名自治体との競合が解消されることで、インターネット上の情報検索において、「十勝清水町」の情報が正しく表示されるようになり、行政が発信する情報が観光客や移住希望者に確実に届くようになります。情報到達率の向上により、ふるさと納税、移住促進、交流人口の増加など、中長期的な効果に繋がっていきます。

（参考）令和元年に名称変更を行った丹波篠山市が実施した調査では、「丹波篠山」という名称が「丹波篠山市のことを指している」と回答した人の割合が、平成 29 年の 23.1%から令和 5 年では 56.3%へと約 2.4 倍に増加しています。一方で、「丹波市と丹波篠山市の両方のことを指している」と回答した人の割合は 44.7%から 15.9%に減少しています。名称変更が、地名の混乱解消に有効であったことが証明されています。

### ② 中長期的な効果

#### 【地域ブランドの価値向上】

「十勝清水町」への名称変更は、地域の特産品に「十勝ブランド」という付加価値を提供します。インターネット調査の結果からは、消費者は「清水産」や「北海道清水産」よりも「十勝清水産」を選びたい意向が強いことが確認されています（46.1%が「十勝清水産」が良いと回答）。

このブランド効果により、町内の事業者には、販路拡大、商品単価上昇、プロモーション効果の向上が期待できます。特に、十勝のイメージと強く結びついている、乳製品・畜産品（プレミアムアイスクリーム、十勝若牛、牛とろフ레이크など）の競争力強化が強く期待されます。

#### 【観光客・来客の増加】

「十勝清水町」への名称変更は、話題性を生み出し、さらに、場所が明確化（回答者の 46.9%が「場所がわかりやすくなる」と回答）することによって、旅行者の訪問意欲を高めます。

観光客が増加する効果は、宿泊業、飲食業、土産品店など観光関連産業全体に波及し、地域経済を活性化させます。インターネット調査では、回答者の 51.1%が「名称

変更が観光地としての印象に影響を与える」と回答しており、特に女性層や高齢層において観光への期待が高い傾向が見られます。

#### 【中長期的な目標の設定】

町名変更を含む総合的なブランド戦略の成果として、いくつかの指標について中長期に検証する方針です。例えば、次のような指標について、5年程度のスパンで「現状比」での目標値を設けることを検討しています。

- 【目標設定指標の例】
- 観光入込客数
  - ふるさと納税額
  - 体験住宅等の利用件数
  - 移住相談件数
  - 企業からの問い合わせ件数 など

- 【目標値の考え方】
- 無理のない“レンジ目標（幅を持った目標）”を設定する
  - 進捗状況を定期的に公表する
  - 必要に応じて施策そのものを見直す

#### 【経済効果への期待】

経済への影響額として、ふるさと納税として5年間で2億円の増、観光入込客数の増加により1億8千万円程度（総合計画目標値より推計）の波及化効果を期待しております。

経済効果については、その時々为社会情勢により大きく影響を受けるものであることから、正確な数値を予測することは困難であります。町名変更による経済効果は、今後検証し公表してまいります。

町としては、効果がでるよう各種取組を継続的に検討・実行してまいります。



### 今後のスケジュールを教えてください。

現時点で想定しているスケジュールは次のとおりです。

- 住民投票条例案議会提出・・・令和8年3月定例議会予定
- 住民投票の実施・・・・・・・・令和8年5月頃予定
- <以下は変更賛同をいただいた場合のスケジュールです。>
- 北海道へ協議書提出・・・・住民投票の結果を踏まえて速やかに提出
- 町名変更議案議会提出・・・・令和8年6月定例議会予定
- 北海道へ議決結果報告・・・・議決後速やかに
- 北海道から総務省へ通知・・・・速やかに
- 総務省にて官報掲載・・・・通知書受領後2～3か月後
- 令和9年中に町名を変更



## 町名変更を未来のまちづくりにどのように活かすのですか。

### ①町名変更をきっかけに、将来につながるまちづくり

「十勝清水町」への町名変更を一つのきっかけとして、将来にわたって町民の暮らしを守り、安心して住み続けられるまちを次の世代へ引き継ぐ、未来に向けたまちづくりを進めていきたいと考えています。

町名変更は、決して魔法のような解決策ではありません。

「十勝」を付けたからといって、すぐに人口が増えたり、町の経済が急に良くなったりするものではないことは十分理解しています。

町名に「十勝」を冠することで、全国に誇れる農畜産物や、日高山脈襟裳十勝国立公園に指定された美しい自然景観などの魅力がより多くの人々の目に留まり、清水町を知ってもらい、訪れてもらい、産品を買ってもらい、応援してもらおう可能性を広げることができると考えています。

町名変更を通じて、町の未来を共に考え、共に選んでいくことが、これからのまちづくりの第一歩になると考えています。

### ②認知度向上による地域経済の活性化と行政サービスの維持

町の認知度が高まることは、企業誘致の推進につながります。企業が進出すれば雇用が生まれ、地域経済が活性化し、そして、それが将来的にスーパーマーケットなど生活に必要な施設の誘致にもつながります。

一方で、少子高齢化と人口減少は全国共通の課題です。本町人口は、20年後に約6,200人、現在の約3分の2になるという推計もあります。人口が減少すれば、税収が減り、行政サービスの維持が難しくなることが想定されます。だからこそ、企業誘致やふるさと納税の拡大などにより、税収や雇用を少しでも確保し、行政サービスを維持していく基盤づくりが必要です。

特に、地場産品の開発と情報発信を進め、「十勝清水町」の名前とともに魅力を届けることで、地域の活性化を図り、将来的にはふるさと納税額で十勝管内ナンバーワンを目指していきます。得られた財源は、子育て支援や福祉、教育など、町民サービスの充実に活用していきます。

### ③未来の世代へ引き継ぐための選択と、住民による判断

町名変更は、将来の町民の暮らしを支えるための、今の世代から未来の世代への贈り物だと考えています。

今を生きる私たちが、20年後、その先の世代に「この町に住んでよかった」と思ってもらうための一つの選択です。

これは、行政だけで決めるものではありません。

町の将来に関わる重要な選択だからこそ、最も公正で公平な方法である住民投票により、町民の皆様一人ひとりにご判断いただくものです。

【小学生への説明用に作成した資料】

## しみずちよう ちょうめいへんこう 清水町の町名変更について



### ■ なぜ、まちの名前の話をしているの？

今の日本は、人がへったり、仕事の形が変わったり、ほかのまちとの競争が強くなったりしています。

その中で、「まちの名前」は、インターネットで調べるときや、旅行先をえらぶときに、とても大切になっています。

清水町は、同じ名前のまちや場所が全国にたくさんあるため、「どこにある町なのか分かりにくい」ことがあります。

そこで、町では、名前を「清水町」から「十勝清水町」に変えることを考えています。

### ■ 「十勝」を入れると、何がよいの？

「十勝」は、北海道の中でもよく知られている名前です。

名前に「十勝」が入ると、「場所が分かりやすい」「インターネットの検索で見つけやすい」というよさがあります。

そのため、町のよさや特産品も、今より伝わりやすくなると考えています。

### ■ しみずちよう なまえ ゆらい 清水町の名前の由来

「清水」は、アイヌ語で「明るく、きれいな川」という意味の言葉からきています。昭和11年に、今の「清水町」になりました。

■ 名前が変わると、どんな未来になるの？

名前が分かりやすくなると、「観光客が増える」「ふるさと納税が増える」「町の産品が売れやすくなる」など、町が元気になると考えています。

そして、そのよさを、町民のみなさんに返していきたいと考えています。

■ 清水町はどれくらい知られているの？

インターネットをつかった調査では、「清水町をまったく知らない」と答えた人が、約8割いました。

一方、「十勝」という名前は、半分以上の人が「聞いたことがある」と答えています。

■ 町の名前は、すぐに変えるの？

町づくりは、これから何十年も続きます。その土台になる名前は、早めに話し合っ決めておくことが大切だと考えています。

ただし、急いで決めるのではなく、説明会や話し合いを行い、最後は住民投票で決めます。

■ 住民投票について

18歳以上の町民が投票できます。賛成が多ければ、町の名前が「十勝清水町」に変わります。



## ■ 町の名前が変わったら

住所は、「北海道上川郡十勝清水町」になります。

学校の名前は、今まで通りで変わりません。



## ■ 町民の手続き

住民票や戸籍は、自動で変わります。運転免許証などは、更新のときに新しい住所になります。

銀行や携帯電話などは、自分で連絡して確認する必要があります。

## ■ 町にとって良いこと

名前が変わると、ニュースになり、多くの人に知られます。

また、「十勝」というブランドで、町の産物がえらばれやすくなります。

観光客が増えると、町の仕事も増えて、町全体が元気になります。

## ■ さいごに

町の名前は、みんなの大切な宝物です。

だからこそ、しっかり考え、話し合い、町民みんな決めていくことが大切です。



## 清水町 町の名前を変えることについて

今、私たちの社会は、とても速いスピードで変わっています。人がへったり、仕事のやり方が変わったり、町どうしのきょうそうが強くなったりしています。

旅行に行く場所や、引っ越し先、会社をうつす場所など、いろいろな場面で町どうしのきょうそうが強くなっています。その中で、町の「名前」は、前よりも大切になっています。

インターネットで調べるときや、旅行のよやく、SNS などでは、町の名前が分かりやすく、よく知られているほど、多くの人に見つけてもらいやすくなります。そのため、えらばれやすくなります。

このような社会の変化を考えて、清水町では、これからの未来のために、長い目で町づくりを進めていくひつようがあると考えています。たとえば、観光のよさを高めること、会社をよぶこと、人を集めることなどです。

その取り組みの一つとして、町の名前を「清水町」から「十勝清水町」に変えることを考えています。

「十勝」という名前は、北海道の外でも、あるていど知られていて、そうぞうしやすい名前です。この名前を町の正式な名前に入れることで、「場所が分かりやすくなる」「地図やインターネットで見つけやすくなる」といったよい点があります。その結果、町のイメージがよくなると考えています。



### なぜ、まちの名前を変えようとしているのですか？

全国には、「清水」という同じ名前の町や市がいくつもあります。

そのため、インターネットで調べたときに、ちがう場所の「清水」が先に出てしまい、私たちの町の場所が分かりにくくなることがあります。

私たちは、「もっと清水町のことを多くの人に知ってもらいたい」と考えています。

もし町の名前に「十勝」という言葉が入れば、どこにある町なのかが分かりやすくなり、町のよさも伝わりやすくなると考えました。

このような思いから、町の名前を変えることについて考え始めました。



### まちの名前を変えることで、どのような未来を考えているのですか？

町の名前が広く知られることで、町のよさや、地元で作られた品のよさが、自然に伝わりやすくなる未来を考えています。

その結果、ふるさと納税や観光に来る人がふえたり、地元の品をしょうかいするきかひが多くなったりすると考えています。そうすることで、町のイメージや、よさを伝える力が高まると考えています。

町の名前をきっかけに、「どんな町なのだろう」と、多くの人にきょうみを持ってもらえます。そのきょうみが町のためになることにつながり、町をもう一度元気にしていきたい、という前向きな思いがあります。



## 私たちの住む清水町は、全国でどのくらい知られていますか？

インターネットを使ったアンケートちょうさで、北海道の外に住んでいる人に、「清水町についてどのくらい知っているか」をたずねました。

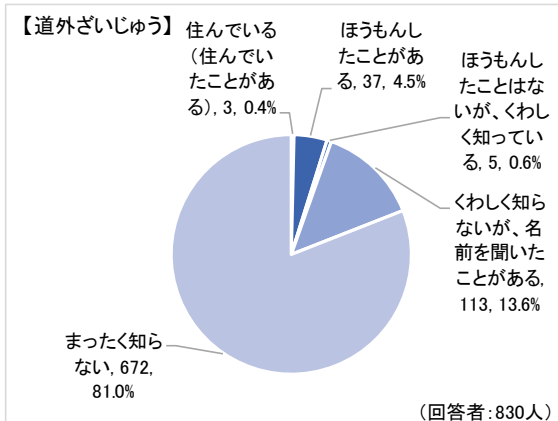
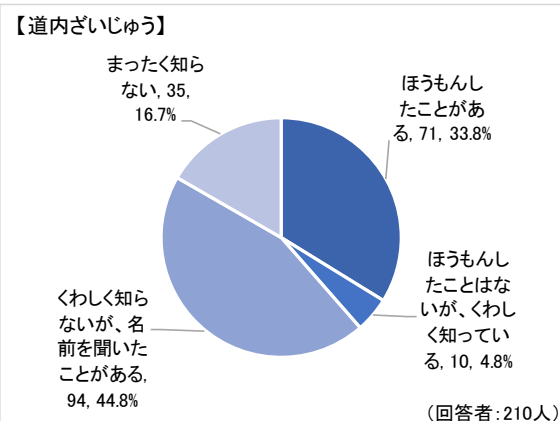
その結果、81.0%の人が「まったく知らない」と答えました。また、「くわしくは知らないが、名前は聞いたことがある」と答えた人は13.6%でした。

このことから、北海道の外では、ほとんどの人が清水町のことを知らないことが分かりました。

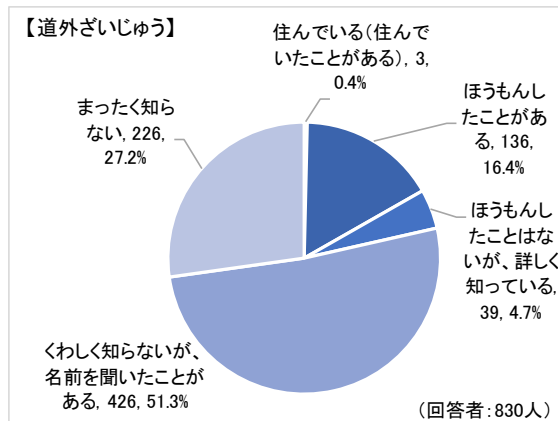
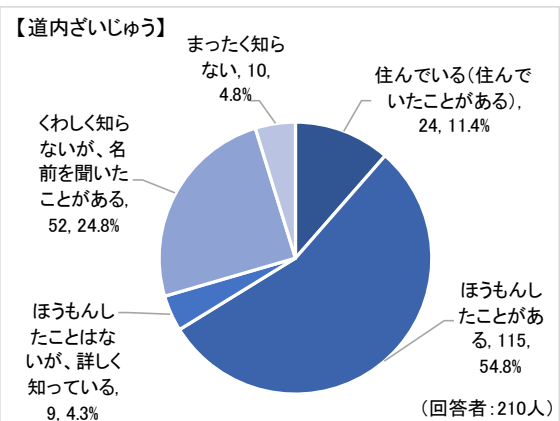
一方で、「十勝」についてたずねると、51.3%の人が「くわしくは知らないが、名前は聞いたことがある」と答えました。

この結果から、北海道の外に住んでいる人でも、半分以上の人が「十勝」という名前を聞いたことがあることが分かりました。

### 「北海道清水町」をほうもんしたことがありますか？知っていますか？



### 北海道の十勝エリアをほうもんしたことがありますか？





## 全国にある、「清水町」「清水」という地区を教えてください。

「清水町」という名前の町は、私たちが住んでいる清水町のほかに、静岡県駿東郡（すんとうぐん）清水町があります。

また、「清水」という名前がつく場所で、全国でも特に有名なのは、静岡県の静岡市清水区（むかしの清水市）です。ここは、サッカーの町として知られており、清水の次郎長、三保の松原、テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」でも有名です。

このように、全国には「清水町」や「清水」という名前がつく住所がたくさんあります。下の地図は、主な地区と、その地区に住んでいる人の数をまとめています。

図表 「清水町」「清水」という名称の地区がある主なまちと地区の人口



資料：令和2年度 国勢調査（総務省）

※京都市は各区の「清水町」と「〇〇清水町」の合計人数

※熊本市北区は「清水本町」「清水亀井町」「清水東町」の合計人数



## 町の名前は、今すぐに変えるひつようがあるのですか？時間をかけて、ゆっくり決める方が、よいのではないですか？

清水町では、未来に向けて、観光のよさを高めること、人とのつながりをふやすこと、会社をよぶこと、人を集めることなど、いろいろな分野で、長い目で見た取組を進めています。その中で、町の名前は、すべての取組に関わる大切なものです。

もし、取組を進めている途中で町の名前が変わると、町をしょうかいしたり、情報をまとめたりすることに、えいきょうが出る可能性があります。

これから5年、10年、さらにその先まで町づくりを進めていくことを考えると、町の名前をどうするかは、できるだけ早く考えておくひつようがあると考えました。

しかし、町の名前を変えることは、いそいで決めてよいものではありません。

そのため、しりょうをしっかりと出し、説明会で意見を聞き、最後は町のみなさんに投票で決めていただく、という流れを考えています。



## 町の名前を変えるかどうか、私たちの意見は反映されますか？

町の名前を変えるかどうかを決めるために、町のみなさんの考えを聞く投票を行います。この投票にさんかできるのは、18才いじょうのみなさんです。

はやければ、令和8年5月に投票を行うよていです。

投票の結果、町の名前を変えることにさんせいする人が、半分より多くなった場合、「十勝清水町」へ名前を変えるための手つづきを進めます。

## 町の名前が変わったら・・・



## どのような住所になるのですか？学校の名前は変わりますか？

町の名前が変わったあとの住所は、「北海道上川郡十勝清水町」となります。そのあとに続く、町の中の住所は、今と変わりません。たとえば、町役場の住所は、「北海道上川郡十勝清水町南4条2丁目2番地」となります。

また、学校の名前は、今のままで、変わりません。



## いつから町の名前が変わりますか？

手つづきがうまく進んだ場合、令和8年10月に、町の名前が変わるよていです。



## 私たち住民は、どんな手つづきがひつようですか？

住民票や戸せきは、町や国のしごととして、自動で新しい町の名前に直されます。そのため、みなさんがとくべつに手つづきをするひつようはありません。マイナンバーカードや、車のうんてんめんきよは、こつ新するとき、新しい住所が書かれます。一方で、銀行こうざ、クレジットカード、ほけん、けいたい電話のけいやくなどについては、けいやくしている会社に、じぶんでかくにんするひつようがあります。



## 町の名前が変わると、どんなよいことがありますか？

### ①近い未来に起きると考えられること

#### 【名前が広まり、話題になります】

北海道の町で名前が変わるのは、30年以上なかったことです。そのため、テレビや新聞、SNSなどで話題になり、町の名前が広く知られやすくなります。

大きなお金をかけなくても、町の知名度を高めるこうかがあると考えています。

#### 【正しい情報がとどきやすくなります】

同じ名前の町がなくなることで、インターネットで調べたときに、「十勝清水町」の情報が正しく出やすくなります。その結果、観光に来たい人や、住みたい人に、町の情報がしっかりととどくようになります。

### ②長い目で見たときに起きると考えられること

#### 【町のブランドの力が高まります】

町の名前が「十勝清水町」になることで、地元で作られた商品に「十勝」のイメージが加わります。アンケート調査では、「清水産」よりも「十勝清水産」のほうをえらびたい、という人が多いことが分かっています。

その結果、「より多くの人に買ってもらえる」「よりよい商品を作ることができる」「商品をしょうかいしたときのこうかが高くなる」といったよい点があると考えています。

#### 【観光に来る人がふえます】

「十勝清水町」という名前は、場所が分かりやすく、話題にもなります。そのため、旅行に行ってみたい気持ちが高まりやすくなります。観光に来る人がふえると、町の中の宿や、食べ物のお店、おみやげの店などで、お客さんがふえます。

アンケートでは、多くの人が「町の名前は、観光のイメージにえいきょうする」と答えています。とくに、女の人やお年寄りで、その気持ちが強いことが分かっています。